

第七十四回
帝國議會
貴族院

軍馬資源保護法案特別委員會會議事速記録第九號

昭和十四年三月十八日(土曜日)午前十時
十二分開會

○委員長(伯爵溝口直亮君) 只今ヨリ委員

會ヲ開會致シマス、前會ニ引續キマシテ御
質問ヲ願ヒマス、本日ハ軍馬資源保護法案
ヲ主トシテ御質問ヲ願ヒマス

○侯爵四條隆德君 軍馬ノ素質ノ不良デアッ

タト云フコトニ付キマシテ、一言質問ヲ御
許シ願ヒマス、軍馬ノ素質ガ惡イト云フコ
トガ何時頃カラ言ハレテ居タカ、今度ノ事
變ニ依ッテ急ニ惡イコトガ分ツタノカ、或ハ

ソレ以前ニ毎年徵發馬ヲ方々御検査ニナリ
マシテ、惡イコトハ前々カラ段々分ツテ居タ
ノカ、特ニ今度ノ事變ニ依リマシテソレガ
濃厚ニナツテ來タノカ、或ハ前カラ検査ノ
結果ハ左シテ在郷軍馬ハ惡ノモノデハナカッ
タガ、今度ノ事變ト云フ特別ナモノニ依リ
マシテ、突然軍馬ノ素質ノ惡イト云フコト
ガ茲ニ起ツテ來タノカト云フコトハ、此ノ軍
馬ヲ今後鍛鍊スルコトニ付キマシテ、認識
セネバナラスコトデアアルヲ以テ、御質問ス
ル次第デアリマス、在郷軍馬ヲ訓練シテ、
非常時ニ備ヘルト云フコトハ目下ノ急務デ
アツテ、日本ハ寧ロ立後レノ觀ガアルト考ヘ

ルノデアリマス、在郷軍馬ヲ訓練シテ非常
時ニ備ヘルト云フコトニ於テハ、今「スイ

ス」ガ一番進ンデ居ル、「スイス」ハ常ニ百
姓馬ヲ軍隊ニ入レテ、或一定ノ訓練ヲシテ、

而モソレガ國內全般ニ互ツテ一年ヲ以テ廻
リ終ルヤウニ計畫ガ出來テ居ルガ、「ロシ

ア」ニ於キマシテハ、千九百二十五年カラ軍
馬竝ニ種馬ニ付テ訓練ヲシテ、サウシテ之ガ

検査ヲスル種馬ニ於テハ競馬ニ依ラズシテ、
ヤツテ居リマス、「ロシア」ガ競馬ニ依ラナイ

デ種ヲ検査シ、馬ヲ「トレ」ニシテ「スルト
云フ此ノ理由ハ、國ガ廣イカラ、競馬ダケ

デハ追ツ附カスト云フヤウナコトヲ聞イテ
居リマス、「スイス」ニ於テハ何故サウ云フ

コトヲヤルカト云フコトニ付テハ、或「ス
イス」ノ馬ノ訓練ニ對スル專門ノ學者ガ、常

備軍隊ノ數ガ少イカラ、不斷馬ノ訓練ニ付
テ、現役軍馬ダケニ頼ルコトガ出來ナイ、

國全體ノ馬ガ非常時ニ備ヘル爲ニ訓練サレ
テ居ナケレバナラスコト云フ見解ノ下ニ、之

ヲ實行スルコトヲ世界デ一番完全ニヤツテ
居ル、是ハモウ絶對日本デハ至急ニ行ハネ

バナラス、且之ニ附帶シテ居ル地方競馬ノ
問題ハ、多年馬事界ニ於ケル懸案ノ一ツデ

アリマス、是モ方法ニ付テ、或ハ之ガ取扱
ニ付テハ種々議論ノアル所デゴザイマセウ

ケレドモ、地方競馬ノ弊害ト云フモノハ馬
事界ニ於テ認メラレテ居ル所デ、斷ジテ矯

メナケレバナラス、サウ云フ工合ニ考ヘテ
居ル、其ノ見解ノ下ニ、此ノ軍馬ノ素質ガ

惡カッタト云フコトニ付テハ、何時頃カラサ
ウ云フコトガ唱ヘラレテ居ルカ、今度始メ

テ戰爭ニ使ツテ在郷軍馬ガ惡カッタト云フコ
トガ突然ニ此處ニ出テ來タノカ、或ハ事變

前數年ニ互リマシテ、在郷軍馬ヲ常ニ一部
ノ府縣或ハ日本全國ニ互ツテ何回モ徵發ヲ

サレテ、ソレヲ試験ヲサレルト云フコトガ
アッタノデアリマセウカ、ソレニ付キマシテ

ハ、私ハ事變前陸軍ニ於キマシテ、非常ニ
精巧ナ方法デ、現役軍馬、支那馬ニ至ル迄、

此ノ素質ノ検査ガアッタト云フコトハ諒承シ
テ居リマス、其ノ結果モ私ハ知ツテ居リマス、

支那馬ニ對シテハ餘リ期待ガ掛ケラレナイ、
但現役軍馬ニ對シテハ相當ノ成績ヲ得ラレ

ルト云フコトヲ私ハ聞イテ居リマス、併シ
サウ云フ検査ノ際ニ、愈々動員トナツタラ、

最モ頼ルベキ所ノ徵發馬ニ對シテ十分ナ御
研究ガアッタノデアアルカ、其ノ點ト竝ニサウ

云フ成績ガ此ノ事變ニ依ッテ愈々濃厚ニナッ
タノカ、前カラ分ツテ居タノカト云フ、此ノ

二ツノ點ニ付テ陸軍ニチヨット御尋ヲスル
次第デゴザイマス

○政府委員(中村明人君) 只今ノ四條侯爵
ノ御質疑ハ能ク分ツテ居ル所デゴザイマス

ガ、今各要點ニ付キマシテ御答ヲ致シタイ
ト思ヒマス、第一番ニ軍馬ノ素質ト云フコ

トデアリマスガ、是ハ第一次馬政計畫ヲ樹
立ラシ、其ノ實行ヲシテ、色々其ノ實行中

ニモ議論ハアリマシタガ、愈々第一次馬政
計畫ヲ終ツテ第二次馬政計畫ニ移ラムトスル

頃ニハ、只今提案ヲシテ御審議ヲ願ツテ居
ルヤウナ議論ハ相當ニアッタノデゴザ

イマスガ、併シナガラナカノ、茲ニ實
驗ト云フモノヲ經テ居リマセヌカラ、

議決スルニハ至ラズ、サウ云フ議論ハアリ
ツ、モ、此ノ第二次計畫ニ入ツテ居ッタノデ

アリマス、ソレガ全ク今度ノ事變ニ依ッテ經
驗カラ、今迄色々議論トシテアツタコトヲ一

ツニ歸一スルダケノ一大自信ヲ得、且茲ニ
決心ヲシタ次第デアリマス、其ノ點ハ又後

程カラ申上ゲマスガ、經過ノ概要ハ左様ナ
コトデアリマス、而シテ支那ノ馬等ニ付キ

マシテハ無論日露戰後ニ非常ニ研究モシ、調査モシ、一朝有事ノ日ヲ考ヘテ居タコトハ當然デアリマス、而シテ之ニ付キマシテモ相當ノ數ガアリ、サウシテ軍ノ後方ニ於テハ、相當ニ有利ニ使ヘルモノト考ヘテ居タノデアリマス、併シナガラ今度滿洲事變、續イテ日支事變ノ經驗ヲ經マスルト、相當ノ數ト云フ數ニ於テハ先般モ申上ゲタ通り豫想外ニ數ニ於テハ少カッタデアリマス、調査ノ疎漏ト云フカ、寧ロ疎漏ト云フヨリハ、後方軍馬トシテモ適切デナイモノガ多イ、又色々ナ病氣ガ多クテ使ヘナイト云フヤウナコトモ可ナリナ影響ト思ヒマス、併シナガラ何ト言ヒマシテモ、今度ノ事變ニ、滿洲事變カラ今事變ニ掛ケマシテ、滿洲馬、蒙古馬ノ補助ヲ得タト云フコトハ是レ尠カラザルコトデアアルコトハ、茲ニ明言ガ出來ルノデアリマス、次ハ軍ハ今迄毎年地方馬検査モヤリ、微發馬モ微發ヲシテ、サウシテ猶氣ガ附カナンダカト云フコトデゴザイマスガ、是ハ率直ニ申シマスレバ、御叱リヲ蒙ッテモ此ノ一大決心ヲスルダケノ判決ト、決心トハ得ナカッタデアリマス、色々議論ハアリマシタ、アリマシタガ、斯ク迄重大決心ヲシテ、劃期的ナ計畫ヲ立テルダケノ從來ノ馬検査、微發馬ノ狀況検査等ニ於キマ

シテハ、軍ハ此ノ決心ガ出來ナンダコトハ御斷リヲ申上ゲル外ハナイト思ヒマス、何故然ラバ短日月デアルノニ、今事變ノ結果斯ウ云フ決心ヲシタカ、斯ウ申シマスレバ、是ハモウ各方面ニ互リマシテ、殆ド「アジアル」ノ東ノ半分、最近ハ海南島迄及ンデ居ルト云フヤウナ狀態デアリマス、又蒙古ノ奧地迄、滿洲ハ「アムール」ノ河畔迄、斯ウ云フ方面ニ總テニ使ツタ其ノ結果カラ、又總テノ馬ヲ使ヒ得ル所ノ、豫想シ得ベキ總テノ地形、又總テノ天候總テノ用意等ニ於キマシテ貴キ犧牲ト共ニ體驗ヲ致シマシテ、茲ニ本提案ノ如キ一大確信ト決心ヲ以テ臨ミ得ルコトニ軍ハナッタ譯デアリマス、以上ニ依ッテ大體御質問ノ骨子ヲ申述べタ次第デアリマス

○侯爵四條隆德君 只今ノコトニ付テ十分了承致シマシテ、此ノ素質ノ惡カッタト云フコトノ事ノ起リニ付キマシテ能ク了解致シマシタ、次ニ此ノ内地馬政計畫實施要領七頁デゴザイマス、其處ニ關シテ馬政局ノ方ニチヨット伺ヒタイコトガアルノデアリマス、此ノ内地保有馬ノ資質向上ト云フコトガ此處ニ載ッテ居リマス、ソコデ馬ノ病氣ニ對シテ特ニ寄生蟲ト骨軟症トダケヲ茲ニ記載シタ、是ガ非常ニ重大ナモノデアルト云

フコトニ付テノ質問ナノデアリマス、此ノ寄生蟲病ハ傳染力ガ餘リ旺盛デモナク、且之ガ驅除ハ比較的簡單ニ解決サレテ居ル、骨軟症ハ單ニ新陳代謝病デアッテ、人間ノ痼疾見タヤウナモノデ、ソレノ一種デアアル、ソレニ因リ馬ノ生産又ハ利用上恐レベキコトガ起ルト云フコトハ非常ニ考ヘナケレバナラヌガ、ソレ以上ニ實際馬ニハ傳染病デアル所ノ傳染性貧血トカ又ハ腺疫トカ、其ノ他色々生産上厄介ナ病氣ガアルニモ拘ラズ、此ノ點ハ寄生蟲、其ノ驅除、骨軟症豫防ト云フコトダケヲ此處ニ特ニ掲ゲタト云フコトニ付キマシテ私ニチヨット了解ガ出來ナイコトガアルノデアリマスガ、其ノ點ヲ簡單デ宜シウゴザイマスカラ、御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(伊藤莊之助君) 只今ノ御質問ニ御答ヲ致シマス、内地保有馬ノ資質向上ト云フコトニ付キマシテハ、生レタ以後ノ馬ニ關シマシテノ施設ヲ差當リ最モ簡明ニシテ出來マスモノヲ舉ゲテアルノデアリマス、馬ノ寄生蟲ニ因リマシテ幼馬、壯馬等非常ニ營養ヲ阻害サレテ居ルノハ御承知ノ通りデアリマス、又只今御話ノヤウナ工合ニ是ハ非常ニ簡單ニモ出來マス、骨軟症ノ方モ最近設備ガ出來マシテ、此ノ豫防法モ發見サレマシタノデ、特ニ是等ノ點ニ付キ

マシテ最モ效果ヲ發揮シ得ルヤウナ途ヲ茲ニ舉ゲタノデゴザイマス、其ノ他只今御指摘ニナリマシタ馬ノ傳染性貧血ニ罹リタル馬ノ病氣ノ豫防等ニ關シマシテハ、現在尙研究中デアリマスケレドモ、相當施設ハ致シテ居ルノデアリマス、併シ御承知ノヤウニ、本病ハ非常ニ研究ヲ要スル點ガ多イノデアリマシテ、ヤッテ居リマスケレドモ、根本的ノ對策ト云フモノハナカ／＼ムツカシイ點モアリマスノデ、特ニ茲ニハ提示シナカッタヤウナ次第デアリマス

○侯爵四條隆德君 次ニ馬ノ保險事業ニ付テノコトデ九頁ニ載ッテ居リマスノデ、保險ニ付テチヨット質問致シタイノデアリマス、目下ノ現狀ニ於キマシテハ、馬ノ安イ保險ハ國內デ取扱ハレテ居リマス、併シ一萬圓デアルトカ、二萬圓デアルトカ云フヤウナ高イ口ハドウシテモ外國ノ保險會社ニ依ラナケレバナラヌ、私ノ知ッテ居ル馬デモ相當澤山外國ノ會社ニ入ッテ居ルノデアリマス、サウ云フ譯デ、サウ云フ大口ノ保險ヲ日本デ取扱ッテ居ラナイ、現在日本ニ在ル馬ノ保險會社ハ、或一ツノ大キナ保險會社ニ付テ私ハ能ク承知シテ居ルノデアリマスガ、其ノ會社ハ今迄ノ失敗ハ濠洲デアッタ、濠洲デ其ノ會社ハ損ヲシテ居リマス、併シ其ノ

外ハ大體此ノ保險事業ハ成立ツテ居ル、サウスレバ、此ノ保險會社ハ先ヅ儲カッテ居ルト考ヘナケレバナラス、サウス云フ見解ノ下ニ斯ウ云フ大口ノ保險ヲ外國ノ保險會社ニ賴ルト云フコトハ、外國ニ金ガ行クコトニナリマシテ、斯ウ云フコトハ日本トシテハ誠ニ私ハ殘念ナコトダト思フノデアリマス、此ノ大口ノ保險ハ將來如何様ナ御取扱ニナルカ、此ノ點ニ付テチヨット御説明ヲ御願ヒ致シマス

○侯爵四條隆德君 サウスルト、當分馬ノ保險ト云フモノハ此ノ金高ノ高イモノハ外國ニ依ルト云フ風ニ了承シテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(伊藤莊之助君) 只今御答ヘ申シマシタヤウニ、成ルベク日本競馬會等ニ依リマスル共濟施設等ニ加入セシメタイト思ツテ居リマスケレドモ、現狀ニ於キマシテハ外國ノ保險會社ニ依ルコトモ已ムヲ得ナイト思ツテ居リマス

○侯爵四條隆德君 次ニチヨット私ガ伺ヒタイノハ、先般大島委員カラモ御質疑ガアツタガ、御答ハマダ我々承ツテ居ラスノデアリマスガ、此ノ日本ノ馬ヲ改良スルニ當ツテ、此ノ馬政計畫ハ色々御話ヲ承リ且之ヲ讀ンデ見マスルト、日本ニ於テハ一ツノ雜種ヲ產ミ出サウトスル即チ一ツノ改良雜種ト云フコトヲ目標ニ是ガ立案サレテ居ル如ク私ニハ受取レルノデアリマス、即チ重イ方ノ馬ハ「ベルシュロン」ニ依リ、輕イ馬ハ、詰リ輕種ト申シテ、「アラブ」、「アングロアラブ」、「サラブレッド」、之ニ依ル、サウシテ其ノ中間ヲ繋グモノトシテ中間種デアル所ノ「アングロノルマン」一種ニ賴ル、之ガ雜種ヲ產ミ出シテ、サウシテ重イモノハ砲兵戰馬ニシヨウ、小サク出來タモノハ駄馬ニシヨウ、稍、輕イモノハ乘馬ニシヨウト云フヤウナ方策ヲ執ラレル、即チ一改良雜種ト云フコトヲ目標ニ進ムヤウニ諒承出來ルノデアリマスガ、サウ考ヘテ宜シウゴザイマセウカ

○說明員(佐々田伴久君) 大體御質疑ハ將來ノ日本ノ馬ヲドウ云フヤウニ固定シテ行クカト云フヤウナコトニ關聯シテ居ルノデヤナイカト思ヒマスガ、此ノ内地馬政計畫提要ノ十一頁ニ馬ノ改良方針ト云フノガゴザイマスガ、其ノ改良方針ノ一部ヲ申上ゲテ、御説明申シタ方ガ適當デハナイカト思ヒマスノデ申上ゲマス、十一頁ニ役種ト致シマシテ乘馬、戰馬、小格戰馬ト云フノガゴザイマスガ、其ノ乘馬、戰馬、小格戰馬ニ付キマシテハ大體軍ノ御要望ニナツテ居リマスル目標ヲ目標トシテ掲ゲテアル、サウシテ是等ノ役種ノ種類ニ付キマシテハ、過般來御説明ニモアリマシタ陸軍ノ御要望ノ中ノ、乘型馬トシテハ中間種ノ五ツノ種類ノ中ノ重、輕半血種ヲ除イタ三ツノ種類、ソレカラ戰型馬トシテ輕半血種ヲ除イタ四ツノ種類ガ適當デアルト云フコトヲ御示ニナツテ居ルノデアリマス、自然此ノ軍ノ目標ニナツテナリマスル中間種ニ付テ御説明ヲシタ方ガ適當デハナイカト存ジマスガ、十三頁ニ種

○政府委員(伊藤莊之助君) 只今ノ御質問ニ御答ヘ致シマス、御承知ノヤウニ現在保險事業ヲヤツテ居リマスノハ家畜保險組合デアリマシテ、只今御話ノヤウニ、非常ニ高價ナ馬ヲ取扱ヒマスコトハ非常ニ困難ナ狀態デアリマス、而シテ之ヲ内地ノ一般ノ保險ノヤウナ工合ニ、會社デ取扱フコトニ付キマシテモ十分ナル研究資料ガアリマセヌカラ、非常ニ危險デアリマスノデ、ナカノ取扱ヒ兼ネテ居ルノデアリマス、併シ現在ニ於キマシテハ一萬圓以上ノ高イ馬ニ付キマシテ、日本競馬會ニ於キマシテ共濟制度ヲ若干認メテ居リマシテ、是等ノ如キ保險事業ノヤウナモノヲナシテ居ルノデアリマス、根本的ナコトハ將來尙研究ヲ要スルモノト考ヘテ居リマス

○侯爵四條隆德君 次ニチヨット私ガ伺ヒタイノハ、先般大島委員カラモ御質疑ガアツタガ、御答ハマダ我々承ツテ居ラスノデアリマスガ、此ノ日本ノ馬ヲ改良スルニ當ツテ、此ノ馬政計畫ハ色々御話ヲ承リ且之ヲ讀ンデ見マスルト、日本ニ於テハ一ツノ雜種ヲ產ミ出サウトスル即チ一ツノ改良雜種ト云フコトヲ目標ニ是ガ立案サレテ居ル如ク私ニハ受取レルノデアリマス、即チ重イ方ノ馬ハ「ベルシュロン」ニ依リ、輕イ馬ハ、詰リ輕種ト申シテ、「アラブ」、「アングロアラブ」、「サラブレッド」、之ニ依ル、サウシテ其ノ中間ヲ繋グモノトシテ中間種デアル所ノ「アングロノルマン」一種ニ賴ル、之ガ雜種ヲ產ミ出シテ、サウシテ重イモノハ砲兵戰馬ニシヨウ、小サク出來タモノハ駄馬ニシヨウ、稍、輕イモノハ乘馬ニシヨウト云フヤウナ方策ヲ執ラレル、即チ一改良雜種ト云フコトヲ目標ニ進ムヤウニ諒承出來ルノデアリマスガ、サウ考ヘテ宜シウゴザイマセウカ

○說明員(佐々田伴久君) 大體御質疑ハ將來ノ日本ノ馬ヲドウ云フヤウニ固定シテ行クカト云フヤウナコトニ關聯シテ居ルノデヤナイカト思ヒマスガ、此ノ内地馬政計畫提要ノ十一頁ニ馬ノ改良方針ト云フノガゴザイマスガ、其ノ改良方針ノ一部ヲ申上ゲテ、御説明申シタ方ガ適當デハナイカト思ヒマスノデ申上ゲマス、十一頁ニ役種ト致シマシテ乘馬、戰馬、小格戰馬ト云フノガゴザイマスガ、其ノ乘馬、戰馬、小格戰馬ニ付キマシテハ大體軍ノ御要望ニナツテ居リマスル目標ヲ目標トシテ掲ゲテアル、サウシテ是等ノ役種ノ種類ニ付キマシテハ、過般來御説明ニモアリマシタ陸軍ノ御要望ノ中ノ、乘型馬トシテハ中間種ノ五ツノ種類ノ中ノ重、輕半血種ヲ除イタ三ツノ種類、ソレカラ戰型馬トシテ輕半血種ヲ除イタ四ツノ種類ガ適當デアルト云フコトヲ御示ニナツテ居ルノデアリマス、自然此ノ軍ノ目標ニナツテナリマスル中間種ニ付テ御説明ヲシタ方ガ適當デハナイカト存ジマスガ、十三頁ニ種

馬種類別體型標準ト云フノガゴザイマス、是ハ我が國ノ馬ノ改良ハ何處迄モ軍ノ御要望ニナツテ居ル馬ヲ目標トシテ改良シ、固定シテ行カナケレバナラス、是等ノモノヲ造リマスル基ニナル種馬ニナル種牝馬ト云フモノモ、軍ノ御要望ニナツテ居リマスモノヲ造ルノニ適當ナモノヲ整備シナケレバナラスト云フ關係カラ、各種類ニ付キマシテ種馬種牝馬ノ體型標準ガ定ツテ居ルノデアリマス、十四頁ノ中間種ノモノニ付テ御説明スレバ、能ク御分リニナルカト存ジマス、此ノ中間種ニ五ツ並ベテゴザイマスガ、此ノ中間種ヲ大體「ノルマン」、「ノルマン」系種、中半血種ニ付キマシテハ乘型、戰型、小格ト分ケテ、體型ニ依リマシテ標準ガ異ツテ居ル、ソレカラ重半血種ハ是ハ固ヨリ戰型デアリマス、我が國ノ產馬ノ狀況ヲ見マスルト、只今ノ所デハ軍ノ要望ニ適フモノガサウ澤山ナイト云フ現狀デゴザイマスノデ、將來是等ノモノノ體型種類ト云フモノヲ整理シテ行ク、固定シナケレバナラスト云フコトトニ相成ルノデアリマス、此ノ種類ノ中デ最多イノハ乘型、戰型ヲ通ジマシテ中半血種ト云フノガ一番多イノデアリマス、ソレデアリマスノデ、茲ニ掲ゲテアリマス三ノツ中デハ將來固定スルト致シマ

スレバ、此ノ中半血種ト云フモノヲ固定シテ行クコトニ相成ルノデアリマス、ソレカラ他ニ重半血種、是ハ北海道ニ於テ生産ヲサレルノデアリマスガ、是ハ輕型馬トシテモ適當ナモノデアリマスノデ、此ノ種類モ固定シテ行カケレバナラスト云フコトニ相成ルノデアリマス、ソレデ此ノ馬ノ固定ハ外國ノ例ニ見マシテモ、少クトモ數百年ハ要スルノデアリマス、デアリマスノデ、急速ニ固定ト云フコトハ出來マセスケレドモ、斯カル標準ニ依ッテ乘型、輕型ト云フモノト區分致シマシテ、其ノ各ノ系統ヲ逐ウテ配合ラシ、サウシテ生産シテ參リマシナラバ、自然目標ニ近イノガ整ッテ來ルト云フコトニナリマスノデ、何年ト云フコトハ此處ニ申上ゲニクイノデアリマスケレドモ、目標ハ大體中半血種ト重半血種、之ヲ固定ス致シマシテ、サウシテ、重半血種ヲ固定致シマシレバ、重半血種ノ中デ乘型、輕型、小格馬ト云フコトニ相成ルト存ジマス、ソコデ重種ハ中半血ト重半血、輕種ハ中半血デアリマスガ、重種ハ重半血ヲ改良シテ固定ヲ進メテ行ク上ニ適度ニ用ヒルコトニ相成ルノデアリマス、ソレカラ此ノ「ノルマン」ノ混合ヲ造成シテ、陸軍ノ御要望ニナル馬ヲ「ノルマン」ニ統制スルトカ云フコトハ

全然考ヘテ居ラナイノデアリマス、是ハ中半血種ト云フモノヲ固定シテ行ク上ニ於テ巧ニ用ヒテ行カウト云フ考ヲ持ッテ居リマス、デアリマスカラ、將來ノ改良ノ目標ハ軍ノ要望ニナル馬ヲ造ルニアル、サウシテ其ノ種類ハ只今ノ種類デハ中半血種、重半血種ヲ用ヒルヤウニ進ム、遠イ將來ニ於テ固定シタ際ニドウ云フテ日本名ヲ冠スルカト云フコトハ、其ノ時ニ於テ研究セナケレバナラスト考ヘテ居リマス

○侯爵四條隆德君 只今ノ御説明ニ依リマシテ、日本ニ於テハ中間種、中半血種ノ固定竝ニ一ツノ重半血種ノ固定ヲスルト云フヤウナ御答ガアリマシタノデ、ソレニ付テ此ノ馬政計畫ガ立案サレテ居ルモノト諒承出來ルノデアリマス、併シ此ノ馬政計畫ノ方法ニ付テ細カイコトハ申上ゲナイノデアリマスケレドモ、一ツノ雜種馬ヲ……改良雜種馬ヲ造ラムトスルヤウニ立案サレテ居ルノデ、其ノ點私ニドウシテモ諒承出來ナイノデアリマス、ソレニ付キマシテハ、此ノ畜産上種ヲ固定スルト云フコトト、改良雜種ヲ造ルト云フコトハ、似テモツカナイコトデアツテ、此ノ出發點ガ決ラナケレバ、此ノ馬政計畫ガ諒承シ難イノデアリマスガ、此ノ中半血種ヲ固定スル、重半血種ヲ固定スルト云フヤウナ、一ツノ固定種ヲ造ルニ付キマシテハ、無論色々ナ設備、色々ナ施設ヲ完全ニシナケレバ目的ヲ實行スルコトガ出來ナイ、若シ御要望ニナルヤウナ改良雜種デ此ノ軍馬ノ御用ガ勤マルノデアルナラバ、極メテ簡單ニ諒承出來ルノデアリマスケレドモ、固定種ヲ造ルト云フコトニ對シテハ私ハモット血統ト云フコトヲドウスル、體型モ……能力ノ檢定ノ方法モモット細カク立案シナケレバ、ハッキリシタ固定種ガ恐ラク造リ得ルコトニ困難デアラウト考ヘルノデ、重ネテ雜種ト云フコトヲ改良スルニ依ッテ目的ヲ達シヨウトスルノカ、此ノ二種類ノ固定種ト云フモノニ向ッテ飽ク迄馬政計畫ガ立案サレテ居ルノカト云フコトヲチョットモウ一度御説明願ヒタイ

○説明員(佐々田伴久君) 只今固定云々ト申シマシタガ、此ノ固定ハ遠キ將來ヲ考ヘテ居ルノデアリマス、遠キ將來デ固定セシメマスル爲ニハ、第一根源ナル種牝馬ナリ、種牝馬ニ付テ第一ニ考ヘナケレバナラスト云フ譯デアリマス、此ノ十二頁ノ第二種馬ノ第二項ノ所ニ、此ノ改良ノ根源デアリ種牝馬ニ付キマシテ、血統トカ、體型、能力ノ登錄ヲ實施スルト云フヤウナ意味ニ於キマシテ、只今ノ登錄施設準備ニ關スル經費ガ計上シテアル、ソレデ是等ハ十一年度カラ計上シテ居ル、ソレデ先ヅ登錄ヲマス爲ニハ全國ノ基礎トナルベキ種牝馬ナリ種牝馬ト云フモノノ調査ヲスルト云フノデ、之ヲ十一年度、十二年度ニ互リマシテ約三十二萬、四歳以上ノ種牝馬、其ノ他三歳ト云フモノヲヤリマシタケレドモ、全國ノ品種別ヲ全部基礎調査シタノデアリマス、サウシテ品種別ニ依ッテ之ヲ分ケル、一定ノ血統ニ互リ或ハ一定ノ體型標準ニ基キマシテ之ヲ區分致シマシテ、折角統計局デ只今集計中デアリマスカラ、是等ノ結果ヲ待チマシテ、サウシテ將來此ノ登錄ノ制度ヲ如何ニ立案スベキカト云フコトヲ研究中デアルノデアリマス、今登錄ノ方法ハ如何ニスルカト云フコトニ付キマシテハ折角準備中デアリマスノデ、具體的ニ此處デ御説明シ得ナイノヲ遺憾トスルノデアリマスガ、大體今回ノ調査ニ依ッテ見マシテモ、御手許ニ過般配リマシタガ、輕種、輕半血種ニ屬シマスルモノガ一萬三千餘頭、ソレカラ重種ニ屬スルモノガ二萬二千餘頭バカリデアリマシテ、三十二萬バカリノモノヲ調査シタ中二十八萬ト云フモノガ中間種デアリ、其ノ中間種ノ大部分ガ中半血種デアリ、ソレニ次デ色々ナ輕種、雜種、重半血種ト云フコ

トニナッテ居ル、ソレ等ノ關係カラ我が國ノ馬ヲ固定スルトスレバ、中半血種ト云フモノノ整備ニ俟タネバナラスト云フ意味デ申上ゲタノデアリマス

○侯爵四條隆德君 只今ノ御話デ方針ガ稍、諒解出來タノデアリマス、即チ此ノ種ノ固定ハ遠イ將來、而モソレニ要スル血統ト云フヤウナ重要ナモノノ準備ハ目下研究中デアルト云フコトヲ只今承ツタノデアリマス、然ラバ其ノ遠イ將來、是ハモウ固定ガ出來ルト云フコトハ數百年掛ルト云フ御話デアリマシタ、モット手近ニ、近イ將來ニ急イデ日本ノ馬ヲ立派ニ軍ノ御役ニ立テルヤウニスルト云フノニ付キマシテ、差詰メ一ツノ改良雜種ニ進マレテ、此ノ色々ナ種ノ固定ニ關スル準備ノ出來タ曉ニ、固定雜種ノ固定ニ移ラレルト云フ風ニ諒承シテ宜シウゴザイマスカ

○説明員(佐々田伴久君) 仰セノ通りデアリマシテ、只今馬ハ大體ニ於テ改良雜種ト認ムベキデアリマス、申上ゲマシタヤウニ、第一次三十年計畫ノ終リニ於テ我が國ニ於テハ殆ドモウ雜種ニナッテシマッタ、而モ其ノ中ニハ何モ何モ掛ケタモノモアリマス、大體ハ改良雜種ト稱スベキモノデアリマス、固定ハ非常ニ遠イ將來ノコトデアリ

マスノデ、速カニ有能ナモノヲ造ラナケレバナラスト云フヤウナ關係カラ、種牡馬、種牝馬ニ付キマシテハ體型標準ヲ定メマシテ、之ヲ標準トシテ色々選定ラシテ行ク、出來ル所ノ子供ニ付キマシテモ有能ナモノヲ造ッテ行クト云フ方針デ、只今進ンデ居ルノデアリマス

○侯爵四條隆德君 只今ノ御話デ十分ニ此ノ方針ヲ諒解致シマシタ、ソレデ此ノ種ノ固定ト云フコトハ茲ニ書イテゴザイマスガ、此ノ近イ目的デアル所ノ雜種改良ガ先デアル、其ノ一改良雜種ヲ茲ニ造リ出シテ、ソレヲ早く軍用ニスルト云フコトニ付テハ、ハッキリ茲ニ書イテナイノデアリマスケレドモ、是ハ畜産ニ携ハルモノガ相當此ノ點デハ迷フノデハナイカ、一ツノ改良雜種ヲ御役ニ立ツヤウニ早クスルト云フノガ先デアッテ、其ノ次ニ徐々ノ此ノ固定種ヲ造ルヤウニスルト云フ意味ニ今承ツタノデアリマス、此ノ改良雜種ト云フコトニ付テハ少シモ茲ニ書イテナイノデアリマス、是ハ將來附加ヘテ一般ニ御提示願フト云フコトニナルノデアリマセウカ、ソレヲ伺ッテ見タイト思ヒマス

○説明員(佐々田伴久君) 此ノ提要ノ一番後ノ方ニ馬ノ種類稱呼ガ戴ッテ居リマス、是

ハ馬政第二次計畫ヲ立テマス二三年前ニ、五十三頁デスガ、從來何々雜種或ハ内國產洋種、其ノ中ニ色々モノガ澤山アッタノデアリマスガ、之ヲ色々ト整理致シマシテ、將來ノ種類稱呼ハ斯ウ云フ風ニト云ッタモノガ我が國ノ改良馬ト致シマシテモ必要デハナイカト云フノデ、約二三年掛リマシテ、

陸軍其ノ外各方面ノ知識經驗ヲ持タレル方方ト御相談致シマシテ決定シタノデアリマスガ、此ノ種類稱呼ニ基キマシテ十五頁ニ種馬種類別配合要領ト云フモノガゴザイマス、輕種、中間種、重種ニ分ケマシテ、今後ノ馬ノ改良ニ當ッテハ、是等ノ種類ハ大別スレバ、輕種、中間種、重種トゴザイマスガ、其ノ中ニ又種類ガゴザイマスガ、其ノ種類ヲ茲ニ掲ゲマシタヤウナ配合ヲヤッテ、サウシテ我が國ノ馬ヲ改良シテ行カウ、輕種ニ於テモゴザイマスガ、中間種ニ付キマシテハ、是ハ乘型、輕型ヲ含ンデ居リマスガ、大體配合ノ範圍ヲ定メ、斯ウ云フ配合ニ依ッテ體型標準ニ依ッテ馬ヲ選定シ、サウシテ馬ノ増産ヲ圖ッテ行クト云フ改良方針ヲ明確ニ定メテアル積リデアリマス、サウシテ十一頁ニ掲ゲデアリマス陸軍ノ要望ニ適フ性能ヲ具ヘタ乘馬ナリ輕馬ナリヲ造ッテ行カウト云フコトノ方針デ進ンデ居ル譯

デアリマス

○侯爵四條隆德君 只今迄ノ御話デ、此ノ馬政計畫ハ差詰メ一改良雜種ト云フコトニ付テ邁進ラスル、次ニサウ云フモノガ出來タ曉ニ於キマシテハ種ノ固定ヲ圖ルト云フコトガ、遠イ將來ノ目的デアルト云フコトニ付テ能ク諒解出來タノデアリマス、ソコデ此ノ遠イ將來ノ中間種ニ於キマシテ一種類、中半血種ニ付テ一種類、二種類ノ種ノ固定ヲスルト云フコトニ付キマシテチヨット伺ヒタイノデアリマスガ、ソレハ日本ノ軍馬ノ是カラ活躍スル舞臺ハ、非常ニ寒イ極寒ノ地カラ、此ノ間御話ノアッタヤウナ熱帶地ニ至ル迄、非常ニ範圍ガ大キイ然ルニ此ノ二ツノ種類、而モソレハ用途ガ違フ、要スルニ用途別ニ言ヘバ、一ツ宛ノ種類ヲ一國ガ持ツヤウニナル、是ハ此ノ大キナ範圍ノ「アジア」ノ舞臺ニ於キマシテ、氣候風土ノ上カラ竝ニ地形ノ上カラサウ云フコトガ差支ナイノデハナイノデアリマセウカ、又作戰上ニ於キマシテ一ツ宛ノ種類ノ馬ト云フモノヲ決定スルト云フコトガ御差支ナイノデアリマセウカ、此ノ點ヲチヨット伺ヒタイ、只今ノコトニ付キマシテハ、馬ノ氣候感作ニ付キマシテ、或ハ土質、サウ云フヤウナ點ニ付キマシテハ馬政局、作戰上ニ應ジテ種

類ヲ一ツニ定メルト云フコトニ危險ハナイ、或ハ相當考慮セネバナラスト云フヤウナコトニ付キマシテハ陸軍ノ方ニ御質問ヲシテ居ルノデゴザイマス

○政府委員(中村明人君) 今回本案ヲ提出スルノ決心ガ附キマシタコトハ、全ク軍ハ先程申シマシタ通り豫想モセナンダ南ハ廣東ハ勿論、僅カデハアリマスガ、海南島ニモ使ヒ、北ハ包頭ノ西ニ迄モ使フト云フヤウニ、尙寒イ方カラ言ヒマシテモ、興安、黑河ト云フヤウナ滿洲ノ最北ノ地迄使ッテ居リマス、其ノ使用ノ範圍ヲ斯ノ如ク廣ク軍馬トシテ又徵發馬トシテ使フコトハ千古未曾有デアリマシテ、其ノ結果ニ基イタコトデ、軍ハ十分此ノ中間種ト云フモノニ自信ヲ持ッテ居リマス、幸ヒナル哉尙我ガ國ハ北占守カラ南臺灣迄國土ヲ持ッテ居リマシテ、各種ノ土地ニ於テ此ノ中間種ガ訓練ヲセラレテ居ルノデアリマスカラ、用兵上ハ其ノ廣汎ニ互ル所ノ訓練ノ效果モ遺憾ナク併セテ發揮ガ出來ルト云フコトニ考ヘテ居リマス、從ッテ軍トシテハ此ノ限りニ於テ軍ノ目的カラ見タ上ニ於テ、又將來ノ想像シ得ラレル作戰ノ範圍ニ於テ差支ナイト、斯ウ云フ見地デゴザイマス

(伯爵溝口直亮君委員長席ニ復ス)

○説明員(佐々田伴久君) 此ノ中間種ノ中

ノ中半血ニ付キマシテハ、此ノ中カラ遠イ將來ニ於テ固定スベキモノヲ選ビ出サナケレバナラスト云フコトニナルト云フ意味デアリマシテ、只今中半血種トナッテ居リマスケレドモ、此ノ中ニハ乘型ノ種類、鞍型ノ種類、小格鞍型ノ種類等ニ將來固定シタ際ニ、是等ニ付テ如何ニ感ズルカト云フコトハ相當研究スベキカト思ヒマス、尤モ乘型鞍型、小格鞍型ノ此ノ中半血種ニ付テ、全國ノ二種類ハ、系統ハ同ジダト申シマシテモ、只今仰セニナリマシタヤウナ氣候風土等ガ各、異ル譯デアリマスノデ、地方的ニハソレノ特色ノアル馬ガ出來ルカト存ジマス、唯固定スベキ種類ハ中半血種ノ中カラ選ビ出サナケレバナラスト云フコトニナルコトヲ申上ゲテ置キマス

○侯爵四條隆德君 只今陸軍竝ニ農林省カラノ御意見ニ依リマシテ、此ノ馬ノ種類ハ一ツノ固定種ヲ造ル、是ハ近イ將來ニ於テ一ツノ固定種ヲ創造スルニ付キマシテ作戰上竝ニ氣候風土ノ關係カラ差支ナイト云フコトヲ承ッテ、能ク了承致シマシタ、次ニ競馬規程ニ付テチヨット伺ヒタイコトガゴザイマス、此ノ競馬ニハ馬ガ競馬馬ニナッテ走ラウト云フ時ニ一ツノ検査ガ競馬規程ノ中

ニゴザイマス、現行競馬規程ノ九頁、此ノ

検査ノ際ニ、或一定度以上ノ體高、大キナ馬ハ不合格ニナルヤウニナツタ、即チ體高制限ト云フ問題ニ付テ相當ヤカマシイノデアリマス、之ニ付キマシテ馬產地ニ於キマシテハ非常ニ此ノ競馬馬ヲ造ルコトニ於テ金ヲ掛ケテ居ル、併シ背ノ伸ビタ馬ガ出來タナラバ、是ハ公認競馬ニハ出ナイ、此ノ競馬ニ走ル所ノ「サラブレッド」ガ一旦競馬ニ登場出來スト云フコトニナレバ、先ヅ二束三文、此ノ體高制限ト云フコトガアルノハ、無論斯ウ云フ馬ガ種馬ニナッテハ日本ノ馬ガ段々大キクナル、ソレニ依ッテ之ヲ喰止メネバナラスト云フコトニ立脚シテ、茲ニ掲ゲラレテアルヤウニ考ヘラレルヤウナ次第デアリマス、併シ種馬ニナルト云フ時ニ、若シ大キイ馬ガ種馬ノ検査ニ合格シテハ困ルト云フナラバ、種牡馬検査ノ際ニ大キイ馬ハドン／＼採用セヌヤウニ、不合格ニサレ、バ、ソレデ大尺馬ト云フモノハ種馬ニハナラヌ、若シサウ云フ牝馬ガ蕃殖牝馬ニ使ハレルコトガイケナイト云フコトニナリマスナラバ、競馬ニ出場スルト云フコトヲ之ニ依ッテ禁止シ、競馬ニハ出サナクテモ蕃殖馬ニ使フコトニナル譯デアリマス、ソコデ馬產地ニ於キマシテハ此ノ馬ヲ能ク觀察

シテ居リマシテ、育成中ニ馬ガ大キクナリサウデアアル、是ハドウモ競馬ノ検査ニ合格シサウモナイト云フ心配ガ生ジタ際ニハ、現在デハ育成ノ方法ニ依ッテ其ノ馬ノ體尺ヲ止メルコトニ成功致シテ居リマス、又科學ノ力ハ藥品ヲ以テ馬ノ脊ノ高サヲ伸ビヌヤウニ防止スル方法モ考ヘラレテ居ル、サウスルト、育成ノ時、是ハ大キクナルグラウト見込ヲ付ケタ馬ハ、サウ云フ手段ニ依ッテ脊ノ高サヲ止メル、此ノ育成ノ方法ハ非常ニ無理ガアル、斯ウ云フ育成ヲサレテ宜シイノカドウデアアルカト云フ問題ガ一ツ、モウ一ツハ若シ斯ウ云フ規則ガアレバ、本來ハ脊ガ高クナルベキ見當ノモノデアアル、然ルニ育成上ノ技術ニ依ッテ脊ノ高クナラヌヤウニシテ、縮マッテ出テ來ル、サウ云フ馬ハ無論競馬ノ検査ニ通ル、通レバ走ル、走ラタ曉、競馬ト云フモノハ相手ガ弱ケレバ、サウ云フ馬ハ相當無理ナ育成ヲサレテ來テモ勝ツカモ知レヌ、ソレガ若シ勝ッテ、種馬ニ採ラレタ場合ニハ、其ノ馬ハ自分ハ形ハ小サイ、併シ其ノ馬ニハ子孫ニ大尺馬ヲ出スベキ所ノ遺傳質ハ多分ニ含マレテ居ルト云フコトニナリマス、ソレ故ニ此ノ體高制限ヲ競馬ニ設ケタガ爲ニ、サウ云フ將來大尺馬ヲ出スト云フ遺傳質ヲ持ッテ居ル所ノ

馬ヲ誤ッテ採用スルト云フコトニナル、是ハモウ疑ノナイ所デアリヤウニ考ヘルノデアリマス、モウ一ツハ此ノ大尺馬ガ競馬ニ出テ、格別ニ得ダト云フコトニナルナラバ、競馬ノ規則ノ上ニ於テ馬ノ體尺ニ應ジテ當然「ハンディキャップ」ヲ課スベキデアル、處ガ實際ノ實情ヲ見マスルト、競馬馬ヲ買フ人ハ馬ノ脊ガ大キイカラト云ッテ決シテ喜ブモノデナイ、事實近來競馬ニ優秀ナ成績ヲ得テ居ル馬ニ付テ調査ヲ致シマスルト、決シテ大キイ馬ハ勝ッテ居ラナイ、ソレヨリモ「バラン」ノ取レタ此ノ規則ニ當敵ル馬ガ皆勝ッテ居ル、無論ハ體高制度ト云フ制度ガ設ケラレル前ノ話デアリマス、制度ガ設ケラレテカラハサウ云フ體高制限ニ掛ルヤウナ馬ハ走ラヌ管ナノデアリマス、ソコデ競馬ヲヤラウト云フ者モ決シテ體高ノ大キイモノヲ喜ンデ居ラス、又勝ッタ馬モ大キイ馬ハ永年統計ヲ取ッテ見テサウハハナイ、而モソレガ種牡馬ニナッテハ困ルト云フノナラバ、種牡馬檢査ノ際ニ於テ之ヲ不合格トスレバ宜イ、蕃殖牝馬ニナッテ是ガイケナイト云フナラバ、之ニハ適當ナ方法ヲ執ラナケレバナラス、蕃殖牝馬ニ使ハレル馬ハ競馬場カラ隱退シタ牝馬ダケデハナイ、是ハ極メテ一部分ト考ヘルヤウナ次第デアリマ

ス、ソレ故ニ何故ニ此ノ競走ニ出場スル馬ハ體高ノ高イモノハ出サスト云フ規則ガ茲ニアルノカ、竝ニ體高ノ高イモノハ競馬上洵ニ差支ヘルト云フ理由ニ付テチヨット伺ヒタイと思ヒマス

○説明員(佐々田伴久君) 競馬ニ出マス馬ハ矢張り改良ノ上ニ最モ大切ナ馬デアリマス、此ノ提要ノ六十三頁ニ「軍馬ノ資格及能力ニ關スル標準」ト云フモノガゴザイマスガ、茲ニ示シテゴザイマスルヤウニ、軍ノ御要望ニナリマスル各役種ノ體高ニ付テ申上デマス、乘馬トシテハ五尺五分ト云フモノヲ標準トシテ居ラレルノデアリマス、ソレカラ砲兵戰馬トシテハ五尺一寸二分、戰列戰馬トシテハ四尺九寸五分、輜重戰馬トシテハ四尺八寸八分、是ガ標準デアアルノデス從ッテ最前申上デマシタ種牝馬、種牝馬ノ此ノ十四頁ニ掲ゲテアリマスル體高胸圍管圍ノ標準モ、軍ノ目標トサレテ居ル馬ヲ造リ出ス適當ナル尺寸ヲ定メマシテ、標準ヲ示シテアルノデアリマス、從ッテ此ノ競走ニ參加シテ居リマスル將來種牡馬ナリ、種牝馬トナルベキ馬ニ付キマシテモ、此ノ標準ニ合致スルモノヲ選バネバナラスト云フマア指導方針ト云フモノヲ示シテアル譯デアリマス、今回御審議ヲ願ッテ居リマスル此ノ種馬統計

法ガ施行致サレマスレバ、壯齡ニナツタ際ニ、此ノ種牡馬、種牝馬ノ標準ニナルモノヲ目標ト致シマシテ、大體種牡馬ニ付キマシテハ明ケ二歳ノ驪馬以前、ソレカラ種牡馬ニ付キマシテモ明ケ二歳ニ於テ此ノ方針ニ副フモノヲ選出シマシテ、候補種牡馬ナリ、候補優良種牝馬ニ指定スル譯デアリマス、デアリマスカラ、將來ハ矢張り此ノ標準ニ副フモノガ整備サレル、隨ッテ競馬ノ方ヘ出マスル馬モ從來ノヤウナ體高ノ高イモノガ出ナクナル、隨ッテ此ノ規定ナンカニハ、モウ一旦コチラノ方デ候補種牡馬ナリ或ハ候補優良種牝馬ニ指定スルノデアリマスカラ、其ノ馬ガ出ル譯デアリマスカラ、アノ標準ニ掲ゲテアル體高ノ制限アタリハ、是ハモウ要ラナクナルモノト存ジマス、サウシテ更ニ又國ガ買上ゲマス際ニハ、此ノ標準ニ依リマシテ優良ナモノヲ選定スルコトニ相成ル譯デアリマスカラ、將來餘リ大格ノモノハ出來テ來ナクナルト云フコトヲ考ヘテ居リマス

○侯爵四條隆德君 只今ノ御話ニ依リマス

ト、公認競馬ニ出場スル馬ハ、當然候補種牡馬ト云フ檢査ヲ通ッテ、ソレニ合格シタモノデナケレバナラスト云フコトニナリマスガ、左様了承シテ宜シウゴザイマスカ

○説明員(佐々田伴久君) 左様デゴザイマス

○侯爵四條隆德君 サウスルト、矢張り其處ニ私ノ考ヘテ居ルコトガ引ッ掛ルノデゴザイマスガ、候補種牡馬ニスル爲ニ、無論大キナ馬ハ是カラ御採用ニナラスト云フノデアルカラ、其處ニ體高制限ガ設ケラレル、サウスルト、其ノ體高制限ニ間ニ合ハナケレバ競馬ニ出ラレナイ、合格シナケレバ競馬ニ出ラレナイ、就キマシテハ其ノ今競馬ニ出ヨウト云フ馬ガ競馬登録前ニ受クベキ所ノ……此ノ規則ノ受クベキ所ノ一ツノ關門ガソレヨリ少シ前ニ……時期ガ前ニ、候補種牡馬ノ檢査ニ移ッタニ過ギナイ、サウスルト、斯ウ云フコトニナルノデアリマスガ、候補種牡馬檢査ニ合格シナケレバ、無論公認競馬ニ出ラレナイ、サウスルト、其ノ際ニ體高制限ト云フモノガアルニ依ッテ、育成ノ時ニソレニ間ニ合フヤウニ、大キナ系統ノ馬ハ無理ナ育成ヲシナクチャナラス、斯ウ云フ育成ノ方法ニ御賛成デアリマスカ、或ハ斯ウ云フ育成ノ方法ハイカヌ、馬ノ天賦ヲ發揮スルヤウニ餘裕アル育成ヲサセル御積リデアリマスカ、或ハ無理ニ色々ナ技術的ノコトヲ用ヒテ、馬ノ背丈ヲ縮メテ、其ノ候補種牡馬檢査ニ合格セムトスル其ノ

育成ノ方法、差支ナイト御認デアリマスカ、ドウデアリマスカ、其ノ點チヨット……

○説明員(佐々田伴久君) 育成ニ付キマシ

テハ、何處迄モ合理的育成ニ依リマシテ、サウシテ馬ヲ造リ上ゲルコトヲ理想トシテ居リマス、ガ、併シ大キナモノガ今後今ノヤウナコトデハ出來ルノデハナイカト云フヤウナ御話デゴザイマスルガ、種牡馬、種牝馬ノ選定モ嚴ニ致シマス、ソレカラ其ノ中ニモ茲ニ掲ゲテアリマスモノハ、最高最低非常ニ融通性ガアルノデアリマシテ、大キイ馬同士ヲ掛ケマシタ際ニハ矢張り體高制限ニ掛ルヤウナモノモ出來ル譯デアリマスカ、是等ハ配合ノ際ニ努メテ大格ノモノガ出來ナイヤウニ、又サウ云フ出來ル系統ノモノニ付キマシテハ出來ナイヤウナ系統ノ小格ノモノヲ配合シテ、サウシテ配合ニ依ッテ體高馬アタリハ多少調整シ得ルノデハナイカト考ヘテ居リマス

○侯爵四條隆德君 種ノ配合上ノ技術ニ依ッ

テ將來大尺馬ハ生ジナイト云フコトヲ只今承ッテ、其ノ見解ノ下ニ此ノ體高制限ニ付テノ質問ハ是デ終了致シマス、今度ハ直接法案ノコトデチヨット伺ヒタイノデアリマ

スガ、種馬統制法案ニ付テ、第十七條ノ所ニ

「政府ハ種付ヲ爲スコト不適當ト認ムル牝

馬ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ種付ヲ制限スルコトヲ得」トゴザイマスガ、種付ヲスルノニ不適當ト認ムル牝馬ハ検査方法ニ依ルト、ドウ云フ方法デ検査ヲシ、其ノ牝馬ハドウ云フヤウナ牝馬デアるか、即チ此ノ牝馬ハ惡質遺傳ヲスル所ノモノハイカスト云ハレルノデアるか、能力ガ不足デアルト云フモノヲ矢張り牝馬検査ニ不合格トサレ

ルノデアるか、其ノ點チヨット伺ヒマス

○政府委員(伊藤莊之助君) 只今ノ御尋ニ

御答ヘ致シマス、十七條デ大體不適當ト認メルノハドウ云フモノカト申シマスルト、今考ヘテ居リマスルノハ、幼齡馬デアリマストカ……是ハ勿論デゴザイマスガ、發育ガ不全デアッテ思ハシクナイモノ、或ハ傳染病ヲ持ッテ居リマシテ、之ニ依ッテ配合ヲヤリマスノニ不適當デアルト思ハレルモノ、又畸形等ノ遺傳ガアリマシテ、配合ニ不適當ノモノト云フヤウナモノヲ今考ヘテ居リマス

○侯爵四條隆德君 次ニ軍馬資源保護法案

ニ付テチヨット伺ヒタイ、軍用保護馬ノ中ニハ牝馬ハ含マレルノデアリマスカ、含マナイノデアリマスカ

○政府委員(伊藤莊之助君) 軍用保護馬ノ

中ニハ最初二歳検査致シマス時ニハ、牝

馬ハ含マナイノデアリマスケレドモ、其ノ後三歳等ノ臨時檢定ヲヤリマス場合ニハ之ヲ含ムコトニナリマス、又本年中ニ行ヒマスモノニ付キマシテハ、牝馬モ含マナケレバ要數ヲ滿シ得ザルコトニナリマスノデ、是等モ含ムコトニナル譯デアリマス

○侯爵四條隆德君 軍用保護馬ニナレル牝

馬デアるか、蕃殖牝馬ニモ無論適當デアラウト思フ、軍用保護馬ニナリ得ルヤウナ馬ハ蕃殖牝馬ニ使ナケレバナラス、處ガ軍用保護馬デアるか馬ハ蕃殖牝馬ヲ得ナイト云フコトニナルガ、少シデモ日本ノ馬數ガ減ジテ行クコトヲ防止スルニ付テハ、此ノヤウナ立派ナ蕃殖牝馬ト云フモノヲ種ニ使ハナケレバナラス、サウ考ヘルニ依ッテ、軍用保護馬ニナルヤウナ、要スルニ其ノ馬自體ガ既ニ軍馬トシテ御役ニ立ツト云フコトニ依ッテ、軍用保護馬ニナル、サウ云フ牝馬ニ今度ハモット良イ種ヲ掛ケレバ、二代目ハモット良イ御役ニ立ツ筈デアル、ソコデサウ云フ馬ハ軍用保護馬デナシニ、蕃殖牝馬ニ使ハナケレバナラスト云フコトガ重要ナ問題デアラウト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付テドウ云フ風ナ御見解デアリマスカ

○説明員(佐々木登君) 私カラ御答ヘ致シ

マス、此ノ徵發令ノ規定ニ依リマシテ、公

認セラレタル種馬ト云フモノハ徵發ヲ受ケナイノデアリマスガ、其ノ外ノモノハ徵發ノ對象ニナリ得ルノデゴザイマス、ソコデ今度種馬統制法ニ依リマシテ、是ガ制定ニナリマス、此ノ種馬統制法ニ依ッテ保護セラレマスモノハ、公認セラレタル種馬ト云フコトニナリマシテ、徵發對象カラ取除カレル譯デアリマス、併シ其ノ以外ノ牝馬デ

ゴザイマスガ、是ハ一應ハ徵發ノ對象タリ得ルノデゴザイマス、併シナガラ只今仰セノ通り生産擴充ト云フヤウナ方面ノ必要モアリマスノデ、之ヲ軍用保護馬ニ致シマスコトハ成ベク避ケタイと思フノデアリマス、併シナガラ現況ニ於キマシテ牝馬ハ必ズシモ全部蕃殖ニ使ハレテ居ラナイノデアリマス、御承知ノ通り、資格ノ優良ナモノデモ蕃殖界カラ遠ザカリマシテ、外ノ方面ニ使ハレテ居リマスモノガアリマスノデ、ソレ等ノ資格ノ優良ナモノハ軍用保護馬ニ致シタイト考ヘテ居ル譯デアリマス、仰セノ通り、生産ノ方面ト軍用保護ノ方面ト、成ルベク其ノ軍用保護馬ニ指定ヲ致シマス時ニ手心ヲ加ヘタイト思ッテ居ルノデゴザイマス

○侯爵四條隆德君 只今ノサウ云フ検査ニ

際シテ手心ヲ加ヘテ、蕃殖牝馬ヲ少シデモ充實スルト云フコトニ付テ十分了解致シマシタ、

次ニチヨット軍用保護馬ノ手當ノコトデ伺ヒ
タイノデアリマスガ、此ノ軍用保護馬ニハ何ガ
シノ手當ヲ出スト云フコトヲ承ッテ居ル、併
シ軍用保護馬ニ對シテハ私ハ個人的ニハ色々
ノコトヲ伺ッタノデアリマスガ、私チヨットド
ウシテモ分ラナイコトハ、ヤット軍用保護馬
ニナルヤウナ、マア素質ノ惡イ軍用保護馬モ、
軍用保護馬トシテハ極メテ優秀デアルト云
フモノニ對シテモ、同ジヤウニ待遇サレル
ヤウニ考ヘラレル、是ハ非常ニ面倒ナ話デ
アルケレドモ、此ノ軍用保護馬ニ、甲乙丙位
附ケラレタ方ガ手當ヲヤルニシテモ洵ニ便
利デアル、且動員ニ際シテ洵ニ工合ガ好ク
ハナイカ、ト云フノハ、是ガ動員ニ對シテ
工合ガ好イト云フノデ、「ドイツ」ニ於テハ
之ヲヤッテ居ル、「ドイツ」ノ馬匹能力檢定班
即チ「エー・エフ・エル」ハ此ノ點ニ付テ非常
ナ關心ヲ持ッテヤッテ居ル、此ノ馬匹能力檢
定班ト云フモノハ日本ノ丁度乘馬協會、競
馬協會、馬匹協會ヲ一緒ニシタヤウナ「ド
イツ」溫血種馬協會ニ屬シテ居ル、此處デ
斯ウ云フ實益馬ニ付テ等級ヲ附ケテ居ル、
即チ此ノ軍用保護馬ニ「カテゴリー」ヲ附ケ
タナラバ、之ニ獎勵金ヲヤルニ付テモ多少
便宜デハナイカト考ヘル、之ニ付テ等級ヲ
附ケルト云フコトノ善シ惡シ、竝ニ附ケル

ナラバ、如何ナル方法ニ依ッテ附ケルカト
云フコトニ付テ、チヨット伺ヒタイト思ヒ
マス

○説明員(佐々木登君)

只今豫算面ニ於キ

マシテハ飼養費ニ對スル助成金ト云フ名目
ニ於キマシテ、平均三十七圓ガ計上ヲセラ
レテ居ルノデゴザイマス、之ノ考ヘ方ハ資
格ノ優秀ナモノニ對シテ金ヲヤルト云フヤ
ウナ考ヘ方デハナイノデゴザイマシテ、今
度ノ事變ノ徵發馬ノ狀況ハ、先度來説明ガ
アリマシタ通り、平素ノ飼養管理ガ惡イ爲
ニ、徵發シタ場合ニ於キマシテ非常ニ瘦セテ
居ル、之ヲ成ルベク飼養費ヲ補助ラシテヤッ
テ、肥ヤシテ置ケバ、徵發シタ時ニ軍用ト
シテ使フノニ非常ニ便利デアルト云フ所カ
ラ、改良ニ對シテ助成金ヲヤラウト、斯ウ
云フ建テ方デゴザイマスノデ、資格ノ善イ
惡イト云フコトニ付キマシテ、金ニ多イ少
イヲ附ケルト云フ考ハ今ノ所考ヘテ居リマ
ス

テ分ケマストカ云フヤウナ考ヘ方ガアルノ
デアリマス、是ハ何レ此ノ案ガ若シ成立致シ
マシタナラバ、至急研究ヲ致シタイト思ッテ
居リマスガ、只今ノ所ハドノ分類ニ依リマ
シテ、如何程ノ資格ヲ附ケルカト云フコト
ニ付キマシテハ、マダ申上ゲル時期ニ至ッテ
居ラナイノデアリマス

ウ云フヤリ方デオヤリニナルカト云フコト
ノ片鱗ハ伺ッタノデアリマス、例ヘバ只今四
條侯爵ノ御質問ノ際ニ、軍用保護馬ノ檢定
ハ二歳ノ時ニヤリ、其ノ後ハ臨時檢定ヲヤ
ル、マアソレデ普通檢定ト臨時檢定トアル
ノカト云フヤウナコトモ分リマシタ、ソレ
カラ馬票ヲ伴フ鍛鍊競技ニハ他府縣ノ馬ハ
出スコトヲ許サナイコトニスルト云フヤウ
ナ御説明モアリマシタ、斷片的ニハ伺ヒ
マシタノデスガ、ドウ云フ風ニシテオヤリ
ニナルカト云フ方法ニ付テ只今大體御定リ
ニナッテ居リマスル事柄ヲ詳細ニ伺ヒタイ
ト思フノデアリマス、普通鍛鍊ハ地方長官
ガヤルノダト云フノデアリマスガ、其ノ普
通鍛鍊ハドウ云フ方法デドウ云フ時期ニオ
ヤリニナルノデアリマスカ、人ノ方ノ鍛鍊
モ大分困難デハナイカト思フノデアリマス、
乗手ノ方ハドウ云フ風ニナサル御考デアリ
マスカ、又鍛鍊馬競走ハ從來ノ地方若シク
ハ公認競馬ノ競走ノヤリ方トハ、ズット違ッ
タヤリ方デオヤリニナルヤウニ伺ヘルノデ
アリマスルガ、ソレハドウ云フ風ニオヤリ
ニナルノデアリマスカト云フコトヲ一通リ
御説所ヲ願ヒタイ

○侯爵四條隆德君

只今ノ軍用保護馬ニ

色々資格附ケルト云フ問題ニ付テ今後御研
究ニナルト云フコトニ付テ十分了承致シマ
シタ、之ニ依ッテ馬政計畫並ニ法案ノ細目
ニ互ッテハマダ色々私モ質問致シタイコト
ガアルノデアリマスガ、非常ニ細カクナリ
マスカラ、是ニテ馬政計畫ニ對スル質問ヲ
終了致シマス

○次田大三郎君 私ハ此ノ軍馬資源保護法

ノ中ニ規定シテアリマスル軍用保護馬ノ指
定ノコト、ソレカラ其ノ軍用保護馬ノ鍛鍊、
其ノ鍛鍊ニハ普通鍛鍊ト鍛鍊競技トアル、
此ノ鍛鍊競技ノ中ニハ馬票ヲ伴フ鍛鍊競技
ト伴ハザル鍛鍊競技ガアル、ソレ等ノコト
ニ付キマシテドウ云フ方法デオヤリニナル
カト云フコトヲ、モウ少シ詳シク御説明ヲ
願ヒタイト思フノデアリマス、此ノ委員會
ノ初ニ大臣カラ一通リノ御説明ハ伺ヒマシ
タ、ソレカラ尙質疑應答ノ際チヨイ／＼ド

ウ云フヤリ方デオヤリニナルカト云フコト
ノ片鱗ハ伺ッタノデアリマス、例ヘバ只今四
條侯爵ノ御質問ノ際ニ、軍用保護馬ノ檢定
ハ二歳ノ時ニヤリ、其ノ後ハ臨時檢定ヲヤ
ル、マアソレデ普通檢定ト臨時檢定トアル
ノカト云フヤウナコトモ分リマシタ、ソレ
カラ馬票ヲ伴フ鍛鍊競技ニハ他府縣ノ馬ハ
出スコトヲ許サナイコトニスルト云フヤウ
ナ御説明モアリマシタ、斷片的ニハ伺ヒ
マシタノデスガ、ドウ云フ風ニシテオヤリ
ニナルカト云フ方法ニ付テ只今大體御定リ
ニナッテ居リマスル事柄ヲ詳細ニ伺ヒタイ
ト思フノデアリマス、普通鍛鍊ハ地方長官
ガヤルノダト云フノデアリマスガ、其ノ普
通鍛鍊ハドウ云フ方法デドウ云フ時期ニオ
ヤリニナルノデアリマスカ、人ノ方ノ鍛鍊
モ大分困難デハナイカト思フノデアリマス、
乗手ノ方ハドウ云フ風ニナサル御考デアリ
マスカ、又鍛鍊馬競走ハ從來ノ地方若シク
ハ公認競馬ノ競走ノヤリ方トハ、ズット違ッ
タヤリ方デオヤリニナルヤウニ伺ヘルノデ
アリマスルガ、ソレハドウ云フ風ニオヤリ
ニナルノデアリマスカト云フコトヲ一通リ
御説所ヲ願ヒタイ

○説明員(佐々木登君) 便宜私カラ申上ゲ
マス、軍馬資源保護法ノ第二條ニアリマス

馬ノ檢定デゴザイマスガ、是ハ定期ノ檢定ト臨時ノ檢定トヲ實施ヲ致シマス心組ニ致シテ居リマス、定期檢定ハ毎年明ケ二歳ノ馬ニ付キマシテ實施ヲ致シマシテ、其ノ馬ガ明ケ三歳ニナリマシタ時ニ軍用保護馬トシテ指定ヲ致シマス、軍用保護馬ニ臨時多數ノ缺數ガ出來マシテ補填ノ必要ガアリマシル場合ニ於キマシテ臨時ノ檢定ヲ實施ヲ致シマス、但此ノ法案ガ成立致シマシタナラバ、十四年度ニ於キマシテハ三歳以上十七歳以下ノ馬ニ付キマシテ一齊ニ檢定ヲ致シマシテ、軍用保護馬ヲ指定致シマス譯デゴザイマス、其ノ檢定ハ定期ノ檢定トシテ一應取扱フコトニ致シテ居ルノデゴザイマス、從ッテ明年ニ限リマシテハ定期ノ檢定ハ二歳以上十七歳以下ノ馬ト云フコトニ相成ル譯デゴザイマス、次ハ第七條ニ普通鍛鍊ノ事業ハ地方長官ガ之ヲ行フト云フ案ニナッテ居ルノデゴザイマス、是ハ軍用保護馬ニ只今ノ方法ニ依ッテ指定致シマシタ馬ヲ概ネ二十頭毎ニ一個班ト致シマシテ、其ノ班ニ指導員ヲ設ケマス、次ニ平均二回、年二十四回ヲ基準ト致シマシテ町村毎ニ普通鍛鍊ヲ實施スルノデゴザイマス、但農繁期ヲ避ケマシテ、農閑期ニ於テ行ヒマスルコトニナリマスノデ、其ノ二十四回ハ或時八月三

回、四回ト云フヤウナモノガ實施セラレル場合モ出來テ來ルト思フノデアリマス、此ノ普通鍛鍊ヲ實施致シマシテ、少クモ六回其ノ普通鍛鍊ニ出場致シマシテ、成績ノ良好ナモノデ、檢査ノ結果ニ依リマシテ鍛鍊競技ニ掛ケルコトヲ適當ト地方長官ガ認メマシタ馬ニ付キマシテハ、其ノ所有者カラノ申出ニ依リマシテ、地方長官ノ鍛鍊競技ヘノ出場指定ヲ致ス譯デアリマス、鍛鍊競技ノ方ノ實施ノ方法ハ現在行ハレテ居リマスル地方競馬トハ全然趣ヲ異ニ致スノデゴザイマシテ、鍛鍊競技、是ハ優等馬票ヲ發賣致シマスモノト致シマセヌモノトヲ通ジマシテ、先ヅ馬體審査ヲ實施ヲ致シマス、馬ノ身體ノ審査デゴザイマス、其ノ次ニ調教ノ審査ヲ致シマス、是ハ馬ノ躡、歩キ方ト云フヤウナ日頃ノ仕込ニ付テ審査ヲ致シマス、最後ニ能力審査ヲ實施ヲシマス、ソレ迄ハ此ノ鍛鍊競技ハ優等馬票ヲ發賣致シマスト致シマセヌトニ拘ラズ、共通的ノ事柄デゴザイマス、其ノ能力審査ノ中ニ於キマシテ、瞬間的ニ能力ヲ發揮スルコトノ必要ナ馬デ、乗型馬ノ方デゴザイマス、是ハ鍛鍊競技ノ方ノ優等馬票ヲ伴ヒマス方ニ掛ケマシテ、競争ヲセシメル譯デゴザイマス、但サウ云フ馬ノ全部ヲ掛ケマス譯デハ

ナイノデゴザイマシテ、其ノ資格ヲ備ヘテ居リ、又馬ノ所有者ガ希望シテ居リマス馬ノ中デ指定ヲ致シマシテ、必要ナ數ヲ一縣一箇所假ニアリト致シマシタナラバ、ソレニ掛ケルコトニナル譯デゴザイマス、ソレニ出シマス以外ノ馬ハ全部優等馬票ノ發行ヲ伴ヒマセヌ鍛鍊競技ニ掛ケル譯デゴザイマス、其ノ優等馬票ヲ伴ヒマセヌ方ノ一般ノ鍛鍊競技ニ於キマシテハ、能力審査ノ方法ハ是ハ主トシテ持久的ノ能力審査ヲ實施致シマス、是ハ通常驍型馬ノ馬ガ出テ來ルコトニ相成ルト思フノデアリマス、今御説明申上ゲマシタノハ、第八條ノ第一項ト第二項ト第九條ノ「地方長官ノ指定シタル軍用保護馬ニ非ザレバ出場セシムルコトヲ得ズ」ト云フ所迄ヲ申上ゲタノデアリマス、又御疑念ガアリマシタラ申上ゲマス

主ヲ乗セマシテ、極ク簡單ナ廣場ニ於ケル騎乗或ハ道路上ニ於ケル騎乗ト云フヤウナモノヲ實施致シマスガ、二年、三年ニナッテ參リマシタナラバ、ソレヨリハ稍、高等ナル要求ヲ致スコトニ相成リマスルシ、又實益方面ト關聯ヲ持タセマシテ、農耕、運搬ト云フヤウナ方法ニ依ッテ鍛鍊ト連絡ヲ執リマシテ實施致スコトニ相成ルノデゴザイマス、先程チヨット乗ル者ガソレダケノ能力ヲ備ヘテ居ルカト云フヤウナ點ニ付テノ御疑念ガアツタヤウニ思ッテ居リマシタ、只今全國ニ實施致シテ居リマス軍用候補馬ノ鍛鍊ノ施設ヲ致シマシテ經驗致シマシタ所ニ依レバ、地方ノ馬ニ能力ヲ附ケルト云フ點ニ付キマシテハ毫モ差支ヲ感ジテ居ラナイノデアリマス、更ニ強度ノ鍛鍊ヲ致シマスヤウナ時期ニナッテ參リマスレバ、現在ノ持主ノ能力デハ不十分デゴザイマスノデ、此ノ施設ト相俟チマシテ、馬ノ持主ノサウ云フヤウナ鍛鍊上ノ能力ヲ向上スルト云フコトハ是非ヤッデ參ラナケレバナラスト思フノデゴザイマス

○説明員(佐々木登君) 是ハ一番最初ハ持

○次田大三郎君 其ノ持主ガ其ノ馬ヲ御スルト云フコトハ普通鍛鍊ダケニ止メルノデアリマスガ、鍛鍊競技ニナリマシタラバ、他處カラ競馬ノ騎手見タヤウナ者ヲ雇ッテ

來テヤラスト云フコトニナルノデアリマス
カ、其ノ點ヲ……

○説明員(佐々木登君) 馬ノ持主ニ義務ヲ
附ケテ居リマスノハ、普通鍛鍊ダケデゴザ
イマス、鍛鍊競技ノ方ハ或ハ優等馬票ノ發
行ヲ伴ヒマス方デアリマスナラバ、中央會
統制ノ下ニ専門ノ騎手ヲ養成ヲスルコトニ
致シタイト考ヘテ居リマス、優等馬票ノ發
行ヲ伴ヒマセス方ノ鍛鍊競技ニ於キマシテ
ハ、ソレハ能力ヲ備ヘテ居リマス者ヲ
其ノ馬ニ乘セマシテ競技ヲ實施スルコトニ
考ヘテ居ルノデゴザイマス

○次田大三郎君 私ハ是デ宜シウゴザイマ
ス

○子爵會我祐邦君 今ノ御説明ニチヨット
分ラナイ點ガアルノデスガ、馬ノ持主ニ初
ノ中ハ鍛鍊ノ上ニ於テ馬ニ乗サセル、處ガ
馬ヲ飼フ者デ、馬ニ乘レナイ者ハドウナル
ノデスカ、斯ウ云フコトニ矛盾シタコトニ
ナルガ……

○説明員(佐々木登君) 馬ヲ飼ッテ居リマス
者ガ只今ノ施設ニ於キマシテモ馬ヲ持ッテ
出テ居ルノデゴザイマスガ、馬ヲ飼ッテ居ル
者ハドウニカ乗ッテ行ケルヤウデアリマス、
又教ヘテ乗ラシテ居リマス
○子爵會我祐邦君 逆ニ見ルト、ソナコ

トニナルガ、ソナナ杓子定規デヤナイノデ
スネ

○説明員(佐々木登君) 尤モ是ハ馬ヲ持ッテ
居リマスガ、本人ガ乗レマセヌデモ、他ノ
者ガ乗ルコトヲ認メテ居リマス、是ハ北海
道ニアリマシタ實例デゴザイマスガ、皆出
征ヲ致シテ居リマシテ、女デ獨リデ而モ子
供ヲ持ッテ居ルノガ馬ヲ鍛鍊ニ持ッテ參リマ
シテ、女ガ馬ニ乘リ始メタノデアリマスガ、
會場ノ他ノ者ガ代ッテ乗ッテヤリマシテ、鍛
鍊シテヤッタ實例ガゴザイマス、假ニ馬ニ乘
レナイ者ガ持ッテ居リマシテモ、相互扶助ノ
方法デ以テ鍛鍊ヲヤッテ行ケルト思ヒマス

○男爵關義壽君 私ハ少シ細カイコトヲ伺
ヒタイト思ヒマスガ、御差支ナケレバ……

之ヲ公表シテイケナイト云ヘバ、伺ハナク
テモ宜イノデアリマスガ、新馬政計畫ノ上
ニ於キマシテ、有事ノ際ニ軍ノ所要軍馬ト
云フモノハ非常ニ多イカト思ヒマス、一方
軍馬ノ供給ト共ニ、國內ニ於ケル總テノ產
業ニ對スル馬匹ノ數モ非常ニ要ルト思ヒマ
スガ、ドノ位……愈、軍ノ長期抗戰ニナリマ
スト、何百萬頭位實際此ノ日本ノ軍馬ヲ要
スルノデゴザイマスガ、軍馬竝ニ一段廣イ
意味ノ馬匹ヲ要スルノデアリマスガ、ソ
レデ從ッテ全國ニ於キマシテ馬匹ヲ飼育

シテ居リマス農家ト申シマセウカ、各戸數
ガ皆デ何戸位日本中ニアルノデアリマスガ、
ソレカラ現在非常ニ馬匹ガ大事デゴザイマ
スガ、非常ニ病馬……病氣其ノ他ニ依ル疾

病ニ依ッテ、馬ガ毎年ソレダケ消耗スルト思
ヒマス、其ノ外又屠殺サレル馬モアルト思
ヒマス、此ノ減耗率ト馬ノ毎年殖エル増産
率ノ歩合ガズット平均シテ居リマスガ、消耗
率ガ著シク殖エルト云フコトハゴザイマセ
スカ、此ノ點ヲ第一ニ御差支ナケレバ伺ヒ
タウゴザイマス
○政府委員(中村明人君) チヨット速記ヲ止
メテ戴キタイ

○委員長(溝口直亮君) 速記ヲ止メテ
(速記中止)

○委員長(溝口直亮君) 速記ヲ始メテ
○説明員(佐々木登君) 屠殺ノ數デゴザ
イマスガ、是ハ大體統計上ニ現レテ居リマ
ス數字ハ約十萬頭デゴザイマスガ、是ハ事
變前ノ一番多イ時ノ數字デゴザイマシテ、
事變始リマシテ後ニ於キマシテハ漸次減少
シテ參リマシテ、只今デハ殆ド……只今申
上デマシタノハ昭和十一年ノ數字ガ約九萬
五千デゴザイマシテ、之ヲ最大ト致シマシ
テ、昭和十二年ハ七萬二千、現在ニ於キマ
シテハ却テ屠殺ヲ致シマスコトヲ生業ト致

シマス者ハ屠殺スベキ馬ガナイ爲ニ生業ニ
苦ンデ居ルト云フヤウナ狀態ニナッテ居ル
ノデゴザイマス、現在ドウシテモ馬ノ屠殺

ヲ「ゼロ」ニスルト云フ譯ニハ參リマセヌノ
デ、特別ノ處置ヲ講ゼヌデモ、サウ云フヤ
ウニ減少ヲ致シテ居リマスノデ、處置法ニ
付テハ考ヘテ居ラナイノデアリマス
○男爵關義壽君 全國デ馬ヲ飼ッテ居リマス
農家ト申シマセウカ、戸數ハ何戸位アリマ
スカ
○政府委員(伊藤莊之助君) 調査シマシテ、
後デ申上ゲマス

○男爵關義壽君 馬ノ生産力増進ト云フコ
トハ非常ニ大事ナコトト思フノデアリマス
ガ、前々色々御説明ヲ伺ッテ略、諒承致シ
マシタガ、何ヲ言ッテモ、此ノ間御配付戴キ
マシタ購買壯馬、ソレカラ育成馬ノ買上値
段ノ平均ヲ拜見シマシタガ、現在非常ニ物
價ガ高クナッテ居ルニ於キマシテ、アノ位デ
以テ一體宜イモノデゴザイマセウカ、且之
ヲ少シデモ馬ヲ高ク買ッテヤルト云フコトガ
非常ニ生産増進上宜イコトダト考ヘテ居リ
マスガ、其ノ後、表ニ現レマシタヨリモウ
少シ高ク價格ガ上ッテ居ルノデゴザイマス
カ、ドウ云フノデゴザイマスガ、其ノ點ヲ
伺ヒマス

○政府委員(中村明人君) 今チョット表ヲ調ベマシテ……

○政府委員(荷見安君) 只今ノ馬ノ價格ノ問題ガ、馬ノ生産或ハ保有馬數ノ維持ト云フコトニ非常ニ關係ガアルト云フ御話デゴザイマスガ、御參考迄ニ、數字ヲ申上ゲマス前ニ、私カラ其ノ點ニ付キマシテチョット申上ゲタイト思ヒマス、事變以來馬ノ需要ガ増加致シマシタノデ、非常ニ價格ガ騰貴致シタノデアリマス、併シナガラ是ハ又一面カラ見マス、飼育地ノ方ノ馬ヲ飼フ人カラ言フト、非常ニ困難ナル事情ガ起ッテ居リマスノデ、之ヲ一應此ノ儘ニハ出來スト考ヘマシテ、馬ノ價格ヲ適當ナ所ニ調整シテ行クコトガ最モ必要ト考ヘマシタノデゴザイマス、ソレデ私共ト致シマシテハ、陸軍當局トモ十分熟議ヲ致シマシテ、昨年ノ暮ニ主トシテ軍ノ當局、農林省、竝ニ民間ノ人モ、専門家ヲ少數加ヘマシタ馬ノ取引改善ニ關スル協議會ヲ設ケマシテ、此處デ頻リニ研究致シテ居ル譯デアリマス、要ハ政府ガ一番大キナ買手ニナリマスノデ、陸軍省ガ買ヒマスシ、馬政局方面ニ於キマシテモ種馬其ノ他ノ購入ガアリマスノデ、是等ノ方ガ第一次ニ價格ニ關スル目標ヲ定メ、又取引ノ改善等ニ付キマシテハ、民間ノ取

引狀況ヲドウ改善スルカト云フ機構ノ問題等ニ迄觸レマシテ、成ルダケ早く研究ヲ遂ゲマシテ、成案ヲ得タイト考ヘテ居ル、大體ノ趣旨ダケ申上ゲマス

○政府委員(中村明人君) 軍ノ方カラモ只今ノ問題デ申上ゲマス、馬ノ價格ハ事變前ハ非常ニ安カッタノデゴザイマス、今事變デ非常ニ多クノ馬ガ要ルコトニナリマシテ、徵發購買ヲ實施シタ結果ト、又一般產業界ノ需要トニ刺戟セラレマシテ、馬ノ騰リ方ト云フモノハ急ニ進度ヲ高メマシテ、軍ト致シマシテモ一時ハ相當ナ支障ヲ來シタルヤウニ、又生産地方ニ於キマシテハ一般ノ價格ノ暴騰ト共ニ、當然平均シテ、彼此相權衡スルヤウニ買上ゲヤラナケレバナラス、又徵發ヲスル必要ガアルト云フコトハ、軍ハ十分之ヲ認メマシテ、御手許ニ差出シマシタル軍馬ノ價格ト云フモノモ、平均價格ハズツト曲線ヲ上ゲテ來テ居ルノデゴザイマス、而シテ昭和十三年度ニ於キマスル幼馬ノ平均額ハ三百六十九圓、牡馬ハ四百六圓ト此處迄逐次上ッテ來テ居ルノデアリマス、今後又如何ナル情勢ニナルカト云フコトハ豫測スルニ難カラズ、ドウシテモ是ハ下ラナイト思ヒマス、併シナガラドノ點迄之ヲ上ゲ、如何ナル指數デ上ゲテ行クベキカト云フコトハ、相當ニ研究ヲシ、善處スル問題ト思ヒマシテ、目下是等ノ點ニ於テモ農林當局ト協議シ、尙民間ノ權威者ニ對シテモ招聘ヲ致シマシテ、馬ノ買上値段ト云フコトニ付テハ、正當ナル價格ノ出ルヤウニ調査ヲ進メテ居ル次第デアリマシテ、御趣旨ノ點ハ十分迄モ織込シテ居リマスガ、又是カラモ正當ニ善處スルト云フコトニ付テ、軍竝ニ農林當局ハ細心ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、御諒承願ヒマス

○政府委員(伊藤莊之助君) 先程御尋ニナリマシタ馬ノ飼養戸數ニ付テ申上ゲマスガ、是ハ昭和十一年末ニ於キマスル總數ハ百七萬四千戸バカリニナリマス

○男爵關義壽君 今度ハチョット伺ヒタイノハ、日滿一貫ノ馬政計畫ニ依リマスル以上、毎年彼地ニ檢定シテ馬ヲ移出スルコトガ考ヘラレルノデゴザイマスガ、其ノ計畫ガスツカリ出來テ居リマスカ

○政府委員(荷見安君) 御話ノ通りニ、日滿ニ互ル馬政國策ヲ決定致シマシタノデ、之ニ依ッテ本年度カラ一定ノ馬ヲ滿洲ノ主トシテ移民地ニ出ス計畫ノ下ニ、移植致ス考ニナッテ居リマス、其ノ頭數ハチョット差控ヘテ置キマス

○男爵關義壽君 此ノ鍛鍊競技、鍛鍊競走ノコトヲ御尋ネ致シマスガ、總テ色々ノ一般ノ馬事普及其ノ他馬事向上ニ資スル利益ガアリマシヤウ、滿洲ニ向ッテ斯ウ云フ競馬、鍛鍊競馬、鍛鍊競技ヲ將來行ハレタラ如何デゴザイマスガ、概略デ宜シウゴザイマスカラ、ソレニ付テ御意見ヲ伺ッテ置キタイ

○政府委員(中村明人君) 御説ノ趣旨ハ誠ニ結構デアリマシテ、將來ハサウ云フヤウニ滿洲方面ニ於テモ發展スルト思ヒマスガ、如何セン滿洲ノ馬政計畫ト云フト、本年初メテ馬政局ガ畜産局カラ獨立致シマシテ、第一年度ニ踏ミ込シタ云フヤウナ狀態デゴザイマス、年ヲ閱スルト共ニ色々ナ施設モ改善ヲサレ、又開始ヲセラレルモノト存ジテ居ルノデアリマス、又私共ハ日滿一體不可分ノ原則ニ基キマシテ、左様ニ相提携シテ行キタイト考ヘマス

○男爵關義壽君 其ノ後ノ飼料配給統制法ハドウナッテ居リマスガ、去年議會ニ出マシタガ、其ノ後ノ情勢ヲ伺ヒマス

○政府委員(荷見安君) 只今主管局長ガ居リマセヌカラ、後程

○男爵關義壽君 私人質問ハ是デ終リマス

○次田大三郎君 私人先程質問ノ際ニ伺ヒ洩レマシタコトガ一點アリマスノデ、ソレヲ

チヨット同ヒタイト思ヒマス、ソレハ鍛鍊馬
競走デ成績ノ好カクモノハ種馬ニナサル
コトヲ御考ニテナッテ居リマスカ、ドウデス
カ

○説明員(佐々木登君) 鍛鍊馬競走ノ方ハ
飽ク迄モ軍用ニ應ズル爲ノ鍛鍊デゴザイマ
スルノデ、是等ノ成績ガ好イカラト申シマ
シテ、種馬ニシマス考ハゴザイマセス

○次田大三郎君 サウシマスルト、此ノ能
力ヲ審査スル、走ラシテ其ノ能力ヲ審査ス
ルト云フコトハ、公認競馬ニ於テハ非常
ニ大切ナコトデアリマシテ、其ノ最上ノ能
力ヲ發揮セシメテ、ソレデ是ガ種馬ニナル
カドウカト云フコトヲ審査スルコトニナル
ノデアリマスガ、此ノ鍛鍊馬競走ノ方ハ無
論能力ヲ御調ニナルコトハ必要デ、オヤリ
ニナルニハ相違ハアリマセスガ、公認競馬
デ種馬ヲ選擇スル材料ニスル其ノ意味ハ全
クナイモノト考ヘテ宜シイノデゴザイマス
カ

○説明員(佐々木登君) 公認競馬ノ方ニ於
キマシテハ、種馬ニナリマス馬ヲ其ノ最善
ノ能力ヲ出シテ走ラセ、其ノ結果ニ依リマ
シテ、種馬タルニ必要ナル能力ヲ備ヘテ居
ルカドウカト云フコトヲ檢定ヲ致シマス譯
デゴザイマス、鍛鍊馬競走ノ方ニ於キマシ

テハ、走ラセマスルノハ、平時ニ於ケル普
通鍛鍊ニ於テ、各村々デヤッテ居リマスノ
デ、是ガ果シテ各村トモ同様ニ鍛鍊ガ出来
テ居ルカドウカ、ソレカラ又其ノ馬ノ持ッテ
居リマス最大ノ能力ガ發揮出来ルヤウチ鍛
鍊ガセラレテ居ルカドウカト云フコトヲ比
較ヲ致シマシテ、從來ノ鍛鍊ニ關スル成績
ヲ審査ヲ致シマスコトト、將來ノ鍛鍊ニ關
スル指針ヲ得ル、斯ウ云フヤウナ目的デ實
施ヲ致シマスノデ、公認競馬ニ於キマシテ
ハ、其ノ結果ニ依ッテ將來ノ其ノ馬ニ對スル
指針ヲ得ル、鍛鍊競走ニ於キマシテハ鍛鍊
ノ方法ニ付テモ將來ノ指針ヲ得、又ハ與ヘ
ルト云フノヲ目的ニシテ居ルノデゴザイマ
ス

○次田大三郎君 私ノ考ヘル所ヲ申上ゲテ、
當局ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマスガ……
○委員長(伯備藩口直亮君) ドウデゴザイ
マス、午後……

○次田大三郎君 直グデス、鍛鍊競走、鍛
鍊馬競走ト云フコトハ、所謂馬事思想ヲ普
及セシムル上ニ於テハ非常ニ有效適切デア
ルト思フノデアリマス、此ノ優等馬票ヲ伴
フ鍛鍊馬競走ハ別ト致シマシテ、其ノ點ニ
付テハ私ハ別ノ考ヲ持ッテ居リマス、兎ニ角
馬事思想ヲ普及セシムルニハ非常ニ有效適
切ダト思フノデアリマスガ、其ノヤリ方ハ
今日陸上競技ナゾデハ、各村カラ選手ヲ出
シテ、ソレガ一郡デ競技ヲヤル、ソレカラ
一郡デ優等ヲ得タ者ガ一府縣デ競技ヲヤ
ル、斯ウ云フヤウニ代表選手ト云フヤウナ
意味デ競技ヲヤラセマスルト、見ル人ガ非
常ニ興味ヲ感ジテ、自分ノ村カラ出タ何ガ
シガ勝ッタト云フコトト自分ノ村ノ名譽ダト
云フヤウナコトデ、非常ニ熱心ニ見ニモ參
リマスルシ、又應援ヲシ、從ッテソレガ競技
ヲスルモノニ取ッテ非常ナ勵ミニナル、獎勵
ニナッテ居ル實情デアアルノデアリマス、此ノ
鍛鍊競走並ニ鍛鍊馬競走モ今日陸上競技デ
行ハレテ居リマスルヤウナ方法デオヤリニ
ナルト、ズット其ノ馬事思想普及ト云フ目的
ヲ達スル上ニ於テ有效デハナイカト思フノ
デアリマスガ、サウ云フ御考ハアリマスカ
ドウカト云フコトヲ伺ヒタイ

○説明員(佐々木登君) 今仰セノ通りノ方
法ニ依ッテヤリマスノハ、優等馬票ノ發行ヲ
伴ヒマセヌ方ノ鍛鍊競走ガ丁度今仰セニナ
リマシタヤウナコトニ相成ルト思フノデア
リマス、優等馬票ノ發行ヲ伴ヒマス方ハ、
只今申上ゲマシタ所ノ能力ニ關スル重大ナ
ル訓練ノ審査ト云フヤウナ、馬其ノモノニ
付テ持ッテ居リマス目的以外ニ成ルベク多ク

切ダト思フノデアリマスガ、其ノヤリ方ハ
今日陸上競技ナゾデハ、各村カラ選手ヲ出
シテ、ソレガ一郡デ競技ヲヤル、ソレカラ
一郡デ優等ヲ得タ者ガ一府縣デ競技ヲヤ
ル、斯ウ云フヤウニ代表選手ト云フヤウナ
意味デ競技ヲヤラセマスルト、見ル人ガ非
常ニ興味ヲ感ジテ、自分ノ村カラ出タ何ガ
シガ勝ッタト云フコトト自分ノ村ノ名譽ダト
云フヤウナコトデ、非常ニ熱心ニ見ニモ參
リマスルシ、又應援ヲシ、從ッテソレガ競技
ヲスルモノニ取ッテ非常ナ勵ミニナル、獎勵
ニナッテ居ル實情デアアルノデアリマス、此ノ
鍛鍊競走並ニ鍛鍊馬競走モ今日陸上競技デ
行ハレテ居リマスルヤウナ方法デオヤリニ
ナルト、ズット其ノ馬事思想普及ト云フ目的
ヲ達スル上ニ於テ有效デハナイカト思フノ
デアリマスガ、サウ云フ御考ハアリマスカ
ドウカト云フコトヲ伺ヒタイ

○説明員(佐々木登君) 今仰セノ通りノ方
法ニ依ッテヤリマスノハ、優等馬票ノ發行ヲ
伴ヒマセヌ方ノ鍛鍊競走ガ丁度今仰セニナ
リマシタヤウナコトニ相成ルト思フノデア
リマス、優等馬票ノ發行ヲ伴ヒマス方ハ、
只今申上ゲマシタ所ノ能力ニ關スル重大ナ
ル訓練ノ審査ト云フヤウナ、馬其ノモノニ
付テ持ッテ居リマス目的以外ニ成ルベク多ク

○説明員(佐々木登君) 今仰セノ通りノ方
法ニ依ッテヤリマスノハ、優等馬票ノ發行ヲ
伴ヒマセヌ方ノ鍛鍊競走ガ丁度今仰セニナ
リマシタヤウナコトニ相成ルト思フノデア
リマス、優等馬票ノ發行ヲ伴ヒマス方ハ、
只今申上ゲマシタ所ノ能力ニ關スル重大ナ
ル訓練ノ審査ト云フヤウナ、馬其ノモノニ
付テ持ッテ居リマス目的以外ニ成ルベク多ク

○説明員(佐々木登君) 今仰セノ通りノ方
法ニ依ッテヤリマスノハ、優等馬票ノ發行ヲ
伴ヒマセヌ方ノ鍛鍊競走ガ丁度今仰セニナ
リマシタヤウナコトニ相成ルト思フノデア
リマス、優等馬票ノ發行ヲ伴ヒマス方ハ、
只今申上ゲマシタ所ノ能力ニ關スル重大ナ
ル訓練ノ審査ト云フヤウナ、馬其ノモノニ
付テ持ッテ居リマス目的以外ニ成ルベク多ク

ノ人ヲ集メマシテ、軍用馬ノ鍛鍊、或ハ飼
養管理、調教ト云フヤウナモノニ對スル優
劣ノ判斷ヲ眞面目ニ且正確ニ行ハセマシテ、
馬事思想ノ普及涵養ニ資スルト云フ一面ノ
目的ヲ持ッテ居ルノデゴザイマス、此ノ方ノ
目的ヲ達成ヲ致シマスル爲ニハ、遺憾ナガ
ラ只今ノ狀況ニ於キマシテハ優等馬票ノ發
行ヲ伴ヒマセヌ方ノ競技ダケデハ目的ヲ達
成スルコトハ困難カト考ヘテ居ルノデゴザ
イマス

○政府委員(中村明人君) 只今説明員ノ説
明ヲ申上ゲマシタコトニチヨット附加ヘサ
シテ戴キタイト思ヒマス、只今次田委員カ
ラ御指摘ノ點ハ軍トシテハ全ク其ノ通りニ
考ヘテ居リマスルノデ、モウ少シ尙地方ニ
適スルヤウナ勝負ノ氣風モ作り、殊ニ將來
正々堂々ト武ヲ練ル、而モ武人ト離レルコ
トノ出来ナイ馬デ、兵馬ノ大權ト申シマス
如ク馬ト兵トデアリマスガ、ソレヲ巧ニ縣
内ニ於キマシテ此ノ精神氣力ハ固ヨリ、馬
ノ能率増進ト云フコトヲ考ヘテヤリタイト
思ヒマス、ソレガ一面普通鍛鍊馬競走デア
リマシテ、説ヲ爲ス場合ニハ、之ガ其ノ方
法ヲ十分考ヘタナラバ馬券ヲ伴フモノハ要
ラスデハナイカ、斯ウ云フ説ガ一應成リ立
ツト思ヒマス、併シナガラ其處ハ今説明員

○説明員(佐々木登君) 今仰セノ通りノ方
法ニ依ッテヤリマスノハ、優等馬票ノ發行ヲ
伴ヒマセヌ方ノ鍛鍊競走ガ丁度今仰セニナ
リマシタヤウナコトニ相成ルト思フノデア
リマス、優等馬票ノ發行ヲ伴ヒマス方ハ、
只今申上ゲマシタ所ノ能力ニ關スル重大ナ
ル訓練ノ審査ト云フヤウナ、馬其ノモノニ
付テ持ッテ居リマス目的以外ニ成ルベク多ク

○説明員(佐々木登君) 今仰セノ通りノ方
法ニ依ッテヤリマスノハ、優等馬票ノ發行ヲ
伴ヒマセヌ方ノ鍛鍊競走ガ丁度今仰セニナ
リマシタヤウナコトニ相成ルト思フノデア
リマス、優等馬票ノ發行ヲ伴ヒマス方ハ、
只今申上ゲマシタ所ノ能力ニ關スル重大ナ
ル訓練ノ審査ト云フヤウナ、馬其ノモノニ
付テ持ッテ居リマス目的以外ニ成ルベク多ク

ガ申シマシタ通り見解ノ相違ト申シマスカ、考ヘ方ノ相違ト申シマスカ、私共馬ノ養成ト云フコトニ付キマシテハ、農村ニ育チ、馬ト子供ノ時ハ生活ヲシ、能ク知ッテ居リマスガ、昔ハ何千頭ト居リマシタ村デゴザイマシテモ、今ハ殆ド數十頭シカ居ラスト云フ状態ニナッテ居ルト云フコトヲ考ヘマシテモ、是ハ相當獎勵ト云フコトヲヤリ、又馬事思想ハ餘程深刻ニヤラナケレバ普及ガ出来ナイモノデアル、ソレニハ馬券ト云フモノノ、昨日以來非常ニ御議論モアリマシタガ、所謂馬券ト云フモノヲ競走ニ於テハ其ノ必要ヲ認メテヤラナケレバ、馬事思想ノ普及ト云フコトガ軍ノ思フ通り出来ナイト云フコトヲ考ヘルノデゴザイマシテ、御指摘ノ點ハ十分前者ノ方ニ於テアル、又ヤレルモノト考ヘテ居リマス、更ニ止ムニ止マレヌ状態デ、ソレデ此ノ馬券ヲ許シタ競走ト、斯ウ云フ積リデゴザイマス

○次田大三郎君 當局ノ御考ニナッテ居ルコトダケハ諒承致シマシタガ、意見ハ必ズシモ承服致シマセヌ、御考ニナッテ居ル點ダケハ諒承致シマシタ、私ハ折角オヤリニナル軍馬ノ鍛鍊競技、鍛鍊馬競走ニ汚點ヲ印スルヤウナコトハ能ク御考ニナッタ方ガ宜

イト云フ意見ヲ持ッ居リマス、是ハ意見ニ互リマスカラ、私ノ質問ハ是デ止メマス

○委員長(伯爵溝口直亮君) 午前ハ此ノ程度デ休憩ヲ致シマシテ、午後ハ一時半ニ再開致シマス

午後零時九分休憩

午後一時四十二分開會

○委員長(伯爵溝口直亮君) 是ヨリ午前ニ引續キマシテ委員會ヲ開會致シマス

○政府委員(伊藤莊之助君) 先程關委員カラ飼料配給統制法ノ實施成績ニ付キマシテ御尋ガアッタノデアリマスガ、畜産當局ハチヨット缺席致シテ居リマスカラ、私カラ申上デルコトニ致シマス、飼料配給統制法ハ御承知ヤノウニ昨年ノ三月公布ニナリマシテ、配給會社ハ四月早々ニ關係業者ニ依リマシテ創立セラレタノデアリマス、ソレデ十月ノ勅令公布ニ依リマシテ、之ヲ飼料配給統制法第一條ノ政府ノ適當トスルモノト致シマシテ之ヲ規定致シマシテ、飼料配給統制上ノ仕事ヲ命ジタノデアリマシテ、其ノ統制ノ品目ト致シマシテハ、玉蜀黍、高粱、次ニ右二ツノ混合飼料デ、尙其ノ外ニ穀ノ配給ノ統制ヲ爲スコトニナッタノデアリマス、ソレデ配給會社ハ事實上其ノ前カラ爲替強化等ニ依リマシテ仕事ヲヤッテ居ッタノ

デアリマス、大體昨年中ノ取扱數量ト致シマシテハ十五萬「トン」バカリデアリマシテ、全消費量ノ約四分ノ一程度ハ之ニ依ッテヤッタヤウナ次第デアリマス、今年ハ内地ニ於ケル手配、滿洲國ニ於ケル生産其ノ他ノ手配モ著々出来マシタノデ、計畫當初ノ豫定通り實施ヲ行ヒ得ル見込デ居ルノデアリマス、配給ノ價格ニ付キマシテハ、滿洲ニ於キマス原料高ノ關係モアッタノデアリマスガ、其ノ後第三國カラノ輸入ヲ適當ニ致シマシテ、比較的之ヲ安定シ得タ値段デ配給シ得ルヤウニナッタノデアリマシテ、先ヅ大體豫期ノ成績ヲ見タヤウナ次第デアリマス、次ニ穀ニ付キマシテハ當初ハ統制品目ニ加ヘテ居ナカッタノデアリマスガ、日滿ニ於キマス生産狀況ノ關係上値上リヲ來シテ參リマシタノデ、其ノ後之ヲ統制品目ニ加ヘタヤウナ次第デアリマシテ、支那ニ於キマス安價ナ穀ヲ輸入致シマシテ、之ヲ配給致シマシタノト、配給業者及ビ製粉業者ノ自肅自戒ニ依リマシテ、最近ニ於キマシテハ其ノ價格モ漸次低減致シテ居ル傾向ニアルノデアリマス、穀ハ百斤六圓三十錢乃至八十錢位デアリマシタノガ、現在デハ六圓位ニナッテ居リマスシ、輸入物ニ付キマシテハ、現在五圓七十錢程度ニ迄下ッテ居ルノデア

リマス、以上御答ヘ申上ゲマス

○子爵西尾忠方君 質問ノ連絡ガチヨットヲカシイノデスガ、他ノコトニ付テ伺ヒタイト思ヒマス、先刻軍當局カラノ御説明デ、今日ノ支那事變ニ於テハ、北ハ包頭カラ南ハ廣東、或ハ海南島迄ノ廣イ場面ニ軍馬ガ活躍スル、其ノ馬ヲ訓練、準備スル爲ニハ幸ヒ日本ガ千島カラ臺灣迄ノ色々異ナッタ風土ノ下ニアルカラシテ、大變都合ガ好イト云フヤウナ御話デアリマシタガ、茲ニ伺ヒタイノハ、南方方面ニ作戰スル關係上、軍馬補充部ヲ臺灣邊リニ御造リニナル必要ガアルノデハナイカト云フヤウナ感ヲ懷クノデアリマスガ、其ノ點ニ付キマシテ軍當局ノ御所見ヲ伺ヒタイト存ジマス

○政府委員(中村明人君) 只今ノ御質問ニ御答ヘ致シマス、軍馬ガ各方面ニ活躍ヲシタ其ノ體驗ヲ先程申上ゲマシテ、又我が國ノ地勢上亞熱帶カラ溫帶、寒帶ニ互ル特殊ナ狀況モ申上ゲマシタ、幸ヒ此ノ軍馬ト云フモノハ、御承知ノ通りニ、割合ニ早ク其ノ土地ノ氣候風土ニ慣レルノデアリマシテ、非常ニ急ヲ要スル作戰ノヤウナ場合ニハ、幸ヒ土地ノ關係ガ前申シタ通りデアリマスカラ、其ノ時期々々ニ適當ナ所カラ徵發モ出来マセウガ、大キクナリマス、北ノ馬

モ南ニ使ヒ、南ノ馬モ北ニ使ハナケレバナ
ラヌヤウナ場合モ起キテ参リマスコトハ、
今次事變デモサウ云フヤウナコトガ澤山ア
リマスガ、是モ今申上ゲマシタ通り、割合
ニ早ク現地ノ氣候風土ニ慣レルト云フ特性
ヲ持ツテ居リマスカラ、ソレト相關聯ヲ致シ
マシテ、我ガ國ノ馬産ト云フモノハ、其ノ
點誠ニ仕合セナ状態ニアルト思フノデアリ
マス、就キマシテハ尙萬遍ナク各種ノ氣候、
風土ノ關係カラ臺灣ノ如キ亞熱帶地方ニモ
育成所ヲ造リ、馬ヲ殖スト云フコトハ、議
論トシテハ一應御尤ノコトデゴザイマシテ、
我々モ餘裕ガアツタナラバ、逐次其ノ方ニ考
ヲ及スベキダト思ツテ居リマスガ、臺灣ニ造
ラウトカ云フヤウナコトヲ現在ニ於テハ考
ヘテ居ラスト云フコトヲ率直ニ申上ゲマス
○大島健一君 今朝程ドナタカノ御質問ニ
對シテ、説明員カラノ御答ニ、此ノ鍛鍊馬
競走ハ優等馬票ヲ發行スルモノト、ソレカ
ラ發行セサル矢張り鍛鍊馬ノ競走ヲ施行ス
ルト云フヤウニ御話ニナツタ、即チ鍛鍊馬競
技ト云フモノノ中ニ優等馬票ヲ發行スル鍛
鍊馬競走ト馬票ヲ發行セザル鍛鍊馬競走ト
二ツアルヤウニ承リマシタガ、私ノ聽キ誤
リデゴザイマセウカ

ノ第一項ニ「鍛鍊競技ハ命令ノ定ムル所ニ
依リ北海道、府縣、畜産組合聯合會、畜産
組合其ノ他政府ノ指定スル團體ヲシテ之ヲ
行ハシム」ト申シマス方ハ、優等馬票ノ發
行ヲ伴ハナイ分デゴザイマス、第二項ニア
リマス「鍛鍊競技ニシテ優等馬ノ投票ニ關
スル施設ヲ伴フモノヲ行フコトヲ得ル者ハ」
トアリマス是カラ以下ガ優等馬票ノ發行ヲ
伴ヒマスル鍛鍊馬競走デゴザイマス
○大島健一君 サウシマスルト、優等ノ鍛
鍊馬ハ優等馬票發行ノ方ニ自然出ルヤウニ
ナル、是ハ非常ナ多數ノモノニナリマセウ、
唯優等馬票ナシノ競走ヲ同ジク此ノ優等馬
票ヲ發行スル設備ノアル其ノ場所デヤルヤ
ウナコトニナルノデアリマスカ、或ハ是ガ
爲ニハ又特殊ナ設備ガ出來ルノデアリマス
カ
○説明員(佐々木登君) 優等馬票ノ發行ヲ
伴ヒマセヌ方ノ鍛鍊競技ハ、優等馬票ヲ發
行シシマス鍛鍊馬場デ實施ヲ致サナイ方針
ナノデゴザイマス、郡單位、若シクハ縣單
位デ實行ハ致シマスケレドモ、場所ハ必ズ
シモ優等馬ノ投票ヲ行フ場所ヲ使ッテヤルト
云フ風ニハ考ヘテ居ラナイノデゴザイマス
〔副委員長 男爵千田嘉平君委員長席ニ
著ク〕

○伯爵溝口直亮君 私一二伺ヒタイノデア
リマス、第一ハ軍當局ニ伺ヒマスガ、將來
育成所ト、ソレカラ牡馬ノ購入及ビ、今名
ハ忘レマシタガ、軍馬デ貸下ゲル規則ガアッ
タト思ヒマスガ、ソレ等ハ矢張り今ノ通り
御實施ニナリマスカ、或ハ是ガ多少變ッテ参
リマスカ、其ノ點ヲ伺ヒタイ
○政府委員(中村明人君) 只今御指摘ノ點
ハ大體ニ於テ從來通りヤル積リデアリマス
○伯爵溝口直亮君 次ニ是ハ農林當局カ陸
軍當局カドツチカ分リマセヌガ、ドチラカラ
デモ宜シイ、軍馬資源保護法ニ依リ只今御
話ニナリマシタ優等馬票ヲ伴フ鍛鍊馬競走、
是ガ只今ノ所デハ北海道三箇所、一府縣一
箇所以內ト云フコトニナツテ居リマスガ、一
府縣一箇所以內ト云ツテモ、實際出來ル縣ハ
少イト思ヒマスガ、凡ソドノ位ノ御見込デ
ゴザイマスカ
○政府委員(荷見安君) 是ハ大體軍用保護
馬デ普通鍛鍊ヲ經マシタモノガ出テ來ルヤ
ウナ要數ノモノガアル、希望ノアツタモノニ
對シテヤル積デアリマスガ、マダ數ノ所ハ
ハッキリ申上ゲ兼ネルノデゴザイマスガ、必
要ノナイ所ハ成ルタケ省イテ行カウト云フ
氣持ヲ持ッテ居リマス

マセヌカ
○政府委員(荷見安君) 之ヲ書キマシタ趣
旨ハ、大體一府縣一箇所以內ト云フヤウナ
ノデハゴザイマスガ、沖繩ハ現在ヤッテ居リ
マセヌノデ、是ハ省ケルコトカト思ヒマス、
其ノ外ニモ馬ノ數ノ非常ニ少イ所ガアリマ
シテ、是ハ出來ナイヤウニナリハセヌカト
思ヒマス所ガ一二ハゴザイマス
○伯爵溝口直亮君 軍用保護馬ト云フモノ
ハ、先程ノ御話デ大體數ガ分ッテ居リマス
ガ、其ノ中デ先ヅ大體此ノ鍛鍊馬競走ニ出
ル馬ト云フモノハ、乘馬格ノ馬ダケカト思
ヒマスガ、乘馬格トスレバ、數ヲ伺ヒハ致
シマセヌガ、私共ノ經驗ニ依リマシテモ、
大シテ餘計ナイト思ヒマス、サウスルト、
實際一府縣ニ一箇所ト云フヤウナコトハ、
殆ド要ラナクハナイカト思フノデゴザイマ
スガ、實情ハドンナ風ナモノデアリマセウ
カ、是ハ實際ノ專門ノ方カラデ宜シウゴザ
イマスカラ、伺ヒタウゴザイマス
○説明員(佐々木登君) 御説ノ通り、乘馬
格ノ馬ノ數カラ申シマスレバ、此ノ鍛鍊馬
競走ニ出得マスルモノ、言葉ヲ換ヘテ申シ
マスレバ、地方長官ガ指定シ得マスルモノ
ハ、全國ノ各府縣悉クアルトハ申シ得ナイ
ノデゴザイマス、從ヒマシテ其ノ數ハ鍛鍊

馬場ヲ許シマス數ハ、法ニ於キマシテハ北海道三箇所以内、各府縣一箇所以内ト相成ッテ居リマシテ、全部ヲ認メルコトニナリマスレバ、只今長官モ申シマシタ沖繩ヲ除キマシテ、後ノ四十七箇所ト云フコトニナルノデゴザイマスガ、只今直グソレデハ幾ラニスルカト申シマスルコトハ、此ノ法ガ出來マシテ軍用保護馬ノ檢定ヲ致シマシテ、更ニ其ノ指定ヲシマシタ上デゴザイマセスト、ハッキリ幾ラニナルト云フコトハ申上ゲ兼ネルノデゴザイマス、見當ト致シマシテハ只今申上ゲマシタ四十七以內ニ於キマシテ成ルベク必要ノナイ所ハ省キ、價値ノナイ所ハ省キマシテ、實施ヲスルヤウニ相成ルコトト存ジテ居リマス

○伯爵溝口直亮君 是モ實際ノ問題デゴザイマスガ、凡ソ何頭位此ノ鍊鍛馬競走ニ出ル馬ガアツタナラバ、此ノ競走ガ成リ立ツモノデゴザイマス

○說明員(佐々木登君) 此ノ鍊鍛馬競走ヲ故障ナク實施ヲ致シマス爲ニハ、最少限二百頭ノ出場馬ヲ必要ト考ヘテ居リマス

○伯爵溝口直亮君 今ノ御説明デ能ク實際ノ實情ガ分リマシタガ、サウシテ見ルト、此ノ鍊鍛馬競走ト云フモノハ實際ニ於テハ非常ニ數モ少クナリ、實際實施スルノハ餘

計ナイト云フ風ニ感ゼラレマスガ、サウ云フ風ニ心得テ宜シウゴザイマスガ、或ハ實際ハ可ナリ餘計アルト云フ風ニ御覽ニナリマス

○政府委員(荷見安君) 御尋ノ點デアリマスガ、此ノ普通鍊鍛ヲ經マシテ、鍊鍛競技ニ出シ得ルト云フ資格ノアリマスル馬ヲ二百頭有スルト云フコトニナリマス、數ガ豫定ヨリモ若干減ルノデハナイカト考ヘテ居リマス

○伯爵溝口直亮君 大體私了承致シマシタノデスガ、總テノ點ニ於テ要スルニモウ一遍繰返シテ申シマス、鍊鍛馬競走ニ出ル馬ハ軍用保護馬中ノ乘馬格ノモノデアツテ、而モ普通ノ鍊鍛ヲ經テ、凡ソ二百頭位固マッタモノデ初メテ此ノ鍊鍛馬競走ト云フモノガ實施出來ルト云フ風ニ承知シテ宜シウゴザイマス

○政府委員(荷見安君) 左様デゴザイマス

○伯爵溝口直亮君 是デ私ノ質問ハ終リマシタ

(伯爵溝口直亮君委員長席ニ復ス)

○男爵千田嘉平君 只今西尾子爵ノ御質問ニナツタコトニ關聯シマシテ、チヨット一二御伺ヒ致シタイト思ヒマス、詰リ外地……臺灣トカ朝鮮トカ樺太トカ云フ外地ニ於ケ

ル目今ニ於ケル產馬ノ景況ハドウ云フ風デアリマセウカ、概況テ宜シウゴザイマスガ、伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(中村明人君) 只今ノ御質問ハ主管ハ拓務省ニアルノデゴザイマスガ、唯私共ガ重大ナ問題デアリマスカラ、常識トシテ持ッテ居ル所ニ付テ御答ヲ申上ゲル範圍ニ御許ヲ願ヒタイト思ヒマス、朝鮮デゴザイマスガ、朝鮮ノ馬產ノ貧弱ナルコトハモウ御承知ノコトト思ヒマス、數ニ於キマシテモホンノ五萬カソコラデナイカト思ッテ居リマス、土產馬デアリマシテ、軍用的價値ハ是非非常ニ少イノデゴザイマス、日本馬若シクハ之ニ準ズルモノハ極ク僅カデアリマス、昭和十二年度以降十五年間ニ日本馬ヲ相當土產馬位ノ數迄殖サウト云フ計畫ヲシテ、實施ニ著手シテ居ルヤウデゴザイマスガ、事實ニ於キマシテハ朝鮮ノ馬其ノモノハ私共ハ今非常ニ期待ノ出來ナイ状態ニアルト、斯ウ考ヘテ宜イカト思ヒマス、臺灣ハ之ニ比ベマス、益々僅カデ、一層貧弱デゴザイマシテ、現在數モ高々數百頭デハナイカト考ヘテ居リマス、無論御案内ノ通り彼處ニハ水牛ガ澤山居リマシテ、水牛ガ馬ニ代ッテ居ルト云フ状態デ、此ノ水牛ハ多少農耕ノ爲ニハ、今度上海方面ニモ伴レ

テ行ツタヤウデゴザイマス、馬ハ申スニ足ラヌ状態デゴザイマス、樺太ノ方面ニ於キマシテハ現在數ハ臺灣ヨリ無論多ク其ノ倍モアラウカト思ヒマスガ、是ハ昭和十一年度以降十五年間ニ相當數ニ殖サウト云フ計畫ガアルヤウデゴザイマス、又滿洲方面ニ付キマシテハ、今朝程來御話ガアリマシタ蒙古方面ニ於キマシテハ、是ハ相當ナ馬數ガアルノデゴザイマス、又馬ノ素質モ相當ナ素質ヲ持ッテ居ルヤウデゴザイマスガ、マダ此ノ方面ニ付テハ軍トシテハ細カイ所迄調査ヲ完了ハシテ居リマセス、目下詳細ニ互リマシテ調査ヲヤッテ居ル次第デゴザイマス、殊ニ蒙疆方面ニ於キマシテハ蒙古人ノ專用トシマシテ多數ノ馬ヲ持ッテ居ルノデゴザイマスガ、其ノ飼養トカ管理トカマダ原始的デゴザイマシテ、急ニ増産トカ改良ト云フヤウナコトハ困難ナ狀況ニアリマス、大體私共ノ持ッテ居リマスル常識的ノ御答同ハ以上ノ通りデゴザイマス

○男爵千田嘉平君 サウシマス、臺灣ハ將來馬產地トシテ餘リ有效ニ飼養スル見込ガナイノデアリマセウカ、チヨット御見込デモアリマシタラ……

○政府委員(中村明人君) 只今臺灣ノ說明ヲ極ク簡略ニ致シマシタガ、臺灣ハ私共ノ

見ル所デハ馬産地トシテ相當ナ見込ガアルト思ヒマス、從テ當局ニ於キマシテモ昭和十一年度以降三十年間ノ豫定ノヤウデゴザイマスガ、十數萬頭ノ計畫ヲ企圖シテ居ルヤウデゴザイマス

○男爵千田嘉平君 實ハ臺灣ハ私等ハ多少古イ經驗ヲ持ッテ居リマスノデ、日清戰爭ノ折ニ我々ハ北カラ南迄參ッタノデアリマスガ、其ノ節ニハ例ノ「フランス」軍ガ置イテ行ッタ馬デアラウト思ヒマス、「アラブ」ノ小サナヤウナノガ大分居リマシテ、我々ハソレヲ使ッテ、荷物運搬ヲサシタコトガアルノデアリマス、ソレカラモウ四十餘年經過シテ居ルノデアリマスガ、馬産ノ見込ガアツテ、今迄陸軍デ手ヲ御著ケニナラナカッタノデアリマス、ソレカラ先程御説明ガ西尾子爵ニアッタヤウニ、暖カイ地方、熱帶地方ト云フヤウナ御話モアリマシタ、臺灣ハ今迄閑却サレテ居ッタノデアリマスルガ、昭和十一年ニ云々ト云フヤウナ御話モアリマシタガ、是ハ最近ノコトデアリマス、其ノ景況ハドシナヤウナ模様デゴザイマシタカ、若シ分ッテ居リマスレバ……

○政府委員(中村明人君) 臺灣ノ位置ニ鑑ミマシテ、又其ノ氣候、風土ガ必ズシモ馬政ニ不適當デナイト云フ狀況ニ於キマシテ

ハ、是ハ國防上カラ見マシテモ相當ナ馬産ヲ有スルト云フコトハ必要ト存ズルノデゴザイマス、先程申上ゲマシタル昭和十一年以降ノ計畫モ固ヨリ是レ國防ノ必要ニ基イテ出來テ居ルモノト考ヘルノデアリマス、然ラバ領臺後既ニ四十年モ放ッテ置イテ怠慢デハナカッタカ、斯ウ云フ謗モアリ得ルト思ヒマスガ、是ハ國家ノ防諜ト作戰ノ計畫トノ色々ナ工作ニ依ッテサウ云フヤウナ狀態ニ過去ハ歴史ノニナリ來ッタモノデハナイカト思フノデゴザイマス、若シ具眼ノ士ガアツテ領臺直後此ノ馬政ヲ布イテ居ッタモノナラバ、今ハ立派ナモノガ無論アツタト思ヒマスガ、其處ハ矢張り陸軍省ノ總馬政計畫ノ大檢討ガ今次ノ事變ニ依ッテ目ガ覺メ、又改革ヲシタト云フヤウナコトカラ、御想像下サイマスレバ、大體過去ノ歴史ハ御諒承ガ願ヘルコトト思ヒマス

○男爵千田嘉平君 ソレカラ矢張り是ハ關聯シテ居リマスガ、チヨット少シ問題ガ違ヒマスガ、外地竝ニ滿洲ニハ種牡馬ヲ輸出スルト云フ御計畫ノヤウデアリマスガ、種牡馬ハ輸出ハナサラス譯デゴザイマス、チヨット伺ヒタイ

○政府委員(荷見安君) 種牡馬ハ滿洲ニハナラス積リデアリマス

○男爵千田嘉平君 外地ニモゴザイマスナ
○政府委員(荷見安君) 朝鮮、臺灣ニハ若干ヤッテ居リマス

○男爵千田嘉平君 種牡馬ヲ若干滿洲竝ニ外地ニ送リマシテ、其ノ土地ノ極ク惡イ小サナル牝馬デ將來コチラガ期待スルヤウナ相當ナ馬種ニ改良ガ出來ルト云フコトガ出來ルモノデゴザイマセウカ、我々ドウモ一向能ク承知セスノデスガ、直チニ滿洲馬ノ如キモノニ日本ノ種牡馬ガ參ッテ、直チニソレガ改良ノ域ニ達スルヤウナ馬ガ出來ルモノデアリマセウカ、チヨット承リタイ

○政府委員(荷見安君) 外地、滿洲ハ小格馬ヲ主トシテ生産スル計畫ニナッテ居リマスカラ、出來ル見込デゴザイマス

○侯爵西郷從德君 チヨット横カラデゴザイマスガ、北海道ノ農耕馬ナドハ三回位重種ノ馬トヤッテ非常ニ成績ノ良イノモアリマスガ、何分小サイ馬ニ大キイノヲ掛ケルノデ、ソコデ不具ミタヤウナモノガ出來タリシテ、ウマクイカス、臺灣デモ總督府ハ頻リト日本ノ種牡馬ヲ改良シヨウトシテ居リマスガ、値段ノ關係ヤ何カデ民間デハ日本ノ相當ナ牝馬ニ「フィリッピン」ノ熱帶ニ慣レタ馬ヲ掛ケタ方ガ宜イト云フ説ガアリマシテ、今頻リトヤッテ居ルヤウデアリマス、何セ臺灣ノ陸軍モ御承知ノヤウニ警務隊ガ主デアリマシテ、山砲ヲ持ッテ行クト云フヤウナ譯デアリマスカラ、道路ノ鋪裝ガ出來タ今日デハ狀態モ非常ニ違ッテ居ッテ、馬ノコトモ是カラハ非常ニ變ルト思ヒマス、ソレカラ滿洲ハ御承知ノ馬車ガ全然違ヒマスノデ、日露戰爭ノ時ニ既ニ北海道ノ馬車ヲ持ッテ行ッタノデスガ、コンナコト何カデ餘程試験シタクチャ急ニハドウニモナラナイノグラウト考ヘマス、朝鮮ハ尙ノコトデ、ナカノ内地ノヤウニ急ニ改正スルト云フ譯ニイカナイグラウト考ヘテ居リマス、是ハ唯自分ガ素人デ見タダケノ話デアリマス

○大島健一君 此ノ優等馬票發行ノ鍛鍊馬競走ノ此ノ經濟關係ニ付テチヨット伺ヒタイト思ヒマス、是ハ私ニ能ク分ラスノデ伺フノデアリマス、第十條ニ依リマス、此ノ鍛鍊馬ノ施行者ニハ入場料ノ徵收ヲ許ス、ソレカラ第十一條ニ依リマス、此ノ優等馬票ヲ發行シタル其ノ金額ノ百分ノ二十五ヲ收得スルコトガ出來ル、サウシマス、此ノ鍛鍊馬競走施行者ノ收受スル所ノ金額ハ入場料ト此ノ馬票ノ百分ノ二十五、ソレカラ此ノ百分ノ二十五ヲ引イタ即チ百分ノ七十五ノ中カラ政府ノ定ムル所ノ或額ヲ軍用保護馬

鍛鍊中央會ニ納付セヨト云フ第十一條ノ趣旨ニ依リマシテ此ノ金ヲ出シマス、ソレデ此ノ納付金ト云フモノハ第十二條ニ參リマス、中央會ハ法人トシテ鍛鍊競技ノ健全ナル發達ヲ圖リ以テ軍用保護馬ノ能力及ビ馴致ノ向上ニ資スルト共ニ軍馬ノ資質ニ關スル知識ヲ普及スル、斯ウ云フコトニナツテ居リマシテ、此ノ鍛鍊馬競走ノ施行者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ納付金ヲ軍用馬鍛鍊中央會ニ出ス、其ノ中カラ十條ノ八項目ニ指定シタル所ノ拂戻金額ヲ引イタモノガ之ニ行ク、斯ウ云フコトデ總テノ金ヲ支出シ、收納シ、使用スル、斯ウ云フコトニナリマスノデスカ

○政府委員(荷見安君) 只今御尋ノコトニ付テ申上ゲマス、第十條ノ第一項ニ「鍛鍊馬競走ノ施行者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ入場者ヨリ入場料ヲ徴收スベシ」トアリマシガ、是ハ鍛鍊馬競走ハ先程申上ゲマシタ通り、優等馬ノ投票ニ關スル施設ヲ伴フモノデアリマスカラ、之ニハ入場スル者カラハ入場料ヲ徴收スルト云フコトニナツテ居リマス、大體ハ五十錢以内ノ金額ト定ムル見込ゴザイマス、之ニ付キマシテハ、國稅ノ入場稅ガゴザイマス、ソレカラ御質問ノ第十一條ノ「鍛鍊馬競走ノ施行者優等馬票ヲ發行シタルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依

リ其ノ發行ニ依リ得タル金額ノ百分ノ二十五以内ノ金額ヲ收得スルコトヲ得」トゴザイマス、是ハ大體ニ於キマシテ、鍛鍊馬競走ノ施行者ガ此ノ新制度ヲ合理的ニ經營ヲ致シマシテ、將來其ノ健全ナル發達ヲ圖リマス爲ニハ、私共ハ控除率ハ百分ノ二十以内ニ定メル積リテ居ルノデアリマスガ、茲ニ地方稅又ハ之ニ代リマスル寄附金ヲ收納セラレマスルヤウナ場合ニハ、百分ノ二十ヲ超エマシテ、二十五以内ノ金額ヲ納メサセルコトヲ得ルヤウニ致シタイト思ツテ居ルノデアリマシテ、勿論或ハ稅ヲ納メマセストカ、寄附金ヲ出シマセストカ云フヤウナ場合ニハ、其ノモノニハ、只今申上ゲマシタヤウニ百分ノ二十以内ニ命令デ制限致ス積リテ居リマス、次ニ第十二條ニ於キマシテハ軍用保護馬鍛鍊中央會ノ事業デゴザイマスガ、是ハ第十二條ニ於キマスルヤウニ、鍛鍊競技ノ健全ナル發達ヲ圖リマシテ、ソレカラ軍用保護馬ノ能力及ビ馴致ノ向上ニ資スルコトト、軍馬ノ資質ニ關スル知識ノ普及ヲ期スルコトヲ目的ト致シテ居リマスルガ、此ノ外ニ附則ノ第二項ニ依リマシテ、軍用保護馬鍛鍊中央會ハ、現在地方競馬ヲ行ツテ居リマスルモノガ廢止サレルコトニナリマスノデ、其ノ廢止サレマスル馬場ニ

付テ爲シマスル設備其ノ他ノ整理ニ關シマシテ、勅令ノ定ムル所ニ依リマシテ、必要ナル仕事ガ出來ルト云フコトニ致シテ居リマス、是ハ地方競馬ノ整理委員會ヲ設ケマシテ、其ノ委員會ニ於キマシテ嚴正公平ナル審査ヲ致シマシテ、其ノ結果ニ基イテ整理等ヲ致スコトニ相成ルト思ツテ居リマス、尙前ニ戻リマシテ、第十一條ニ依リマスル控除金額デアリマスルガ、其ノ控除金額ヲ差引イタモノハ、總テ第十條ニ依リマシテ拂戻ヲ致スコトニナルノデゴザイマス、軍用保護馬鍛鍊中央會ニ納付致シマスル金額ハ、此ノ控除致シマシタ金額ノ範圍内カラ納付致サセルコトニ相成リマス

○大島健一君 此ノ公認競馬ノ方デハ、政府ヘノ納付金ガアリマシテ、此ノ政府ヘノ百分ノ八、今度ハ百分ノ十一・五ト云フモノ、是ガ政府ノ手デ主ニ馬政ノ方ニ、軍馬ノ進歩發達ニ其ノ四分ノ三ハ使ハレル、斯ウ云フコトニナリマス、是ハ政府ノ手デヤル、此ノ十二條ニ依リマス、皆中央會ガ之ヲヤルト云フコトナルヤウニ見エマスガ、ソコラハドシナヤウナ模様デ行ハレルモノデゴザイマセウカ、ソレガイツ伺ヒタイ所デアリマス、ソレカラ此ノ十一條ノ勘定ニ依リマス、此ノ方ノ競馬施行者ノ收受スル

金額ガエライ少クナルヤウニ見エマスガ、詰リ優等馬票ニ依ル收入ノ七十五ト云フモノガ入場料ト共ニ入ツテ來ル、此ノ優等馬票ノ七十五ヲ今日ノ公認競馬ニ較ベテ見マスルト公認競馬デハ百分ノ十一・五ト云フモノヲ引イタ……其ノ競馬會、今ノ鍛鍊中央會ニ當ルヤウナ競馬會ニ納メルモノガ六・五ニ今回ハナルヤウニ思ヒマシテ、此ノ投票券ヨリ得タル金ヲ百分ノ八十二ト云フモノハ競馬會ノ方ヘ、競馬施行者ノ方ノ手ニ入リマス、今度ノハ競馬施行者ノ方ニ入ル金ハエライ少クナル、百分ノ二十五ニ入場券ノ五十錢ヲ加ヘタモノ、斯ウ云フモノニナリマスガ、此ノ計算ハ何レ施行者ノ總ベテノ經營施設ガ此ノ額ニ依ツテ成リ立タウト云フ御考デ出テ居ルモノトハ無論信ジテ居リマスガ、ソレガドシナ高ニナルト云フヤウナ御見込デアリ、又是ナラ是デ經營ガ出來ルト云フヤウナコトガ凡ソ豫見サレタ豫算、ト申ス程デモナイガ、概略ガ分ツテ居リマセウカ

○政府委員(荷見安君) 只今ノ御尋ハ公認競馬ノ場合ト比較シテノコトデゴザイマスカラ、私モソレニ比較致シマシテ申上ゲタイト思ヒマス、公認競馬ニ於キマシテハ、今回ノ改正ニ依リマシテハ百分ノ十八ダケガ日本競馬會ノ方ヘ控除サレル譯ニ相成リ

マス、ソレニ對當致シマスルモノハ鍛鍊馬競走ノ施行者ノ方ニ控除スルモノデゴザイマシテ、是ガ稅モ寄附金モ納メセヌ場合ハ百分ノ二十ト云フコトニナルノデゴザイマス、控除金額ハ左様ナ支出ニナリマス、公認競馬ノ場合ハ、政府ニ納付致シマスルモガ百分ノ十一・五ト云フモノヲ競馬會ガ納付スル譯ニナリマシテ、控除スルモノハ百分ノ十八デゴザイマスガ、百分ノ十八ヲ控除致シマシテ、其ノ中カラ百分ノ十一・五ト云フモノヲ政府ニ納付スルコトニ致シマスカラ、競馬會ノ方ノ取り分ガ只今御話ノヤウニ百分ノ六・五ニ相成リマス、鍛鍊馬競走ノ施行者ノ方ニ付キマシテハ百分ノ二十以內ヲ原則トシテ控除致サセル積リデゴザイマスガ、其ノ中ノ何程ヲ中央會ニ納付サセマスルカト云フコトハ是ハ各鍛鍊馬競走ノ施行者ガ發行致シマスル優等馬票ノ金額ニ依ッテ差等ヲ設ケタイ積リデゴザイマシテ、餘計ノ發行ヲ致シマシタ分カラハ餘計ニ中央會ニ納付サセルヤウニ致シタイト考ヘテ居リマスガ、只今デハ十萬圓以下ノ發行高デゴザイマスレバ、百分ノ一・五程度ノ納付金ヲ致サセタイト考ヘテ居ルノデゴザイマス、ソレデ拂戻ノ方ヲ申上ゲマスト、競馬會ノ方ニ於キマシテハ今回ノ改正ニ依リマ

スト、百分ノ十八ヲ控除致シマシタ百分ノ八十二ト云フモノガ馬券ノ購買者ニ拂戻ニ相成ル譯デアリマス、鍛鍊馬競走ノ方ニ於キシマテハ控除金額ヲ百分ノ二十ト致シマスト、百分ノ八十ト云フモノガ購買者ノ方ニ拂戻ニ相成ル譯デゴザイマス、ソレデ此ノ收得ノ歩合デゴザイマスガ、是ハ如何ニモ豫算ガ立テニクイノデアリマシテ、先程モ申上ゲマシタヤウニ、北海道三箇所以內、各府縣一箇所以內ト云フコトニナッテ居リマスガ、其ノ中デモ馬數ノ不足トカ或ハ施行スル程度ニ達シナイトカ云フヤウナ所ハ鍛鍊馬競走ヲ認メナイコトニ相成ルデアラウト考ヘマスノデ、數ヲハッキリ申上ゲ兼ネルノデアリマスガ、其ノ以內ニ於テ整理スル譯デゴザイマス、ソレデ賣上ノ發行ノ金額モ是ハ今回ノ施行ガ非常ニ出走致シマスル馬ノ資格ヲ嚴選制限致シマシテ、殊ニ管外馬ノ出走モ認メナイト云フヤウナコトニナリマス、トノ程度ニナリマス、餘程減少シマス、カ、チヨット見込ガ立チ兼ネマス、ソレデ從ッテ控除致シマシタ金額ノ中カラ賣上ガ餘計デアリマスレバ、餘計納付ガ出來マスガ、少イト、其ノ競技ノ施行ニ要スル經費ガ相當要リマスノデ、納付金額ガ少クナルノデハナйкаト考ヘテ居リマス、又馬產地等ニ於キマシ

テハ今回ノヤウニ三圓以內ト御定メヲ願ヒマシテモ、只今ノ景品券附入場券ガ一圓以內デモ、サウ多額ニハナッテ居リマセヌカラ、現在以上ニ金額ヲ殖ス譯ニハ行カナイデ、矢張り田舎ニ於キマシテハ一圓程度ニ定メル外ナイノダト思ヒマスノデ、金額ハ多額ニハ上ラヌダラウト考ヘラレマス、又モウ一ツ御質問ニゴザイマシタ政府ニ納メナイデ軍用保護馬鍛鍊中央會ニ納付セシメルノハドウ云フ爲デアルカ、是ハ一面ニハ鍛鍊競技ノ發達ヲ圖ルト云フヤウナ爲ニハ、斯ウ云フ中央會ガ出來マシテ、ソレガ政府ノ監督ノ下ニ其ノ仕事ヲ致シマシタ方が色々時宜ニ應ジタ事業ガ出來マシテ便利デアラウト思ヒマスノト、モウ一ツハ地方競馬ノ整理ト云フコトハナカノ、困難ナ事業デアリマスカラ、斯ウ云フ中央會ニ其ノ整理ノ時期ニ於テハ特ニ適切ナ整理ヲサセタ方が宜カラウ、勿論自由ニ放任スル譯デハゴザイマセヌ、委員會ヲ勅令ニ依ッテ設ケマシテ、其ノ委員會ノ審議ノ結果整理ヲ致サセタイト思ヒマスガ、ソレヲサセルノニモ、差當リマシテハ適當デアルト考ヘタ譯デアリマス

何ニモ收入ガ少クナリハセヌカ、延イテ經營ガ困難ニナリハセヌカト云フコトヲ心配致シタノデアリマスガ、一向サウ云フ實際ニ不案内ナ私デアリマスカラ、唯政府ヨリ凡ソ是デ經營ガ出來ルト伺ヘバ、ソレデ満足ヲ致シマス、次ノ十二條ハ御推察ノ通り何か收支ヲ締メ括リラスル者ガナケレバト思ッテ、伺ッタノデゴザイマスガ、是モ今御答ノ如ク相當委員制度其ノ他ヲ設ケラレテ監督シテ行ケルト云フコト、殊ニ今日ハ今ノ地方競馬整理ノ關係モアッテ、餘リ窮屈ニ定メルコトガ出來スト云フ事情ガアルヤウニ、御言葉ノ外ニモ思ヒマシタガ、要ハ此ノ金ガ馬ノ改良進歩ニ有效ニ全部使ハレルト云フコトニナレバ、ソレデ満足スルノデアリマス、十二條ニ付テハ或ハ將來何トカ御定メヲ願ハナケレバナラヌヤウナコトガ出來ルカモ知レマセヌガ、今日ハマアサウ云フ事情デゴザイマスカラ、此ノ以上ハ私ハ御尋ネスルコトハゴザイマセヌ

〔副委員長男爵千田嘉平君委員長席ニ著ク〕

○伯爵溝口直亮君 私此處デ實情ガ分リマセヌノデ一ツ實情ヲ伺フノデゴザイマスガ、ドナタカラデモ宜シウゴザイマスガ、實際ノ模様ヲ御答ヘ願ヘバ宜イノデアリマスガ、

今度ノ軍馬資源保護法ニ依ル軍用保護馬、
是ハ主ニ多ク馬産地カラ農村若シクハ都會
地アタリニ賣ラレテ來タ馬ガ大部分デアラ
ウト思ヒマス、是ハ想像デゴザイマスガ、
實際ノ狀況ハ知リマセヌガ、サウシテ見マ
スト、矢張り是ハ都會地ニ多イ御見込デゴ
ザイマスカ、ドウ云フ風デゴザイマスカ、
此ノ分布ハ……

○説明員(佐々木登君) 此ノ軍用保護馬ヲ
選定ヲシテ採リマスノハ、軍ノ動員時ノ徵
發ノ關係モ顧慮ヲ致ス必要ガアリマスノデ、
希望ト致シマシテハ、全國成ルベク平等ニ
バラ撒カレテ居ルコトガ一番希望ヲ致ノデ
ゴザイマス、ケレドモ、現狀ト致シマシテ
ハ、何ト申シマシテモ馬ノ生産地、育成地、
斯ウ云フ方面ニ割合ニ多ク指定ラセラレ
ルコトニ相成ルノデゴザイマシテ、只今御
指摘ニナリマシタ都會地方面ニ於キマシテ
ハ、要數ヲ得マスノニ非常ニ困難ヲ感ジマ
スルヤウナ狀況ニ相成ルノデアリマス
○伯爵溝口直亮君 能ク分リマシタガ、尙
二點チヨット伺ヒタイ、此ノ乘型馬デスカ、
乘馬デスカ、軍用ノ乘馬、是ハ主ニドウ云
フ方面デ飼ハレマスノデスカ、所謂此ノ乘
馬ガ好キデ今持ッテ居ルト云フ者ハ極ク僅
カ、自分デ乗ルト云フノハ……、而モ其ノ

好キデ持ッテ居ラレルト云フ方ハ、恐ラクハ
軍用保護馬ナドヲ持タズニ「アラブ」トカ「ア
ングロアラブ」ト云フヤウナモノヲ大概御
持チニナルト云フコトニナルト、軍用保護
馬中ノ乘馬格ノモノハ主ニドウ云フ風ナ所
ニ養ハレテ居ルカ、又ドウ云フ所デ使ハレ
テ居リマセウカ

○説明員(佐々木登君) 御指摘ノ通り現下
ノ狀況ニ於キマシテハ、乘馬トシテ平素使
ハレテ居リマスモノハ殆ド都會地若シクハ
ソレニ近接ヲ致シマス所ニ作ラレテ居リマ
ス乘馬俱樂部、或ハ馬術ノ練習所ト云フヤ
ウナ所ニ繋ガレテ居ルノデゴザイマシテ、
其ノ種類モ亦御指摘ノ通り、輕種ノ血量ノ
非常ニ多イモノガ尊バレテ居ルノデゴザイ
マス、今度ノ軍馬資源保護法ニ依ッテ保護ヲ
致シマスル乘型馬ト申シマスカ、此ノ制度
ガ完備ヲ致シマシタ曉ニ於キマシテハ、中
間種ノ比較的輕イモノト相成リマスル譯デ
ゴザイマスルケレドモ、當分ノ内ハサウ云
フモノモ軍デスラ平時保管馬ノ中ニ使フノ
デゴザイマスカラ、當分ハ軍用保護馬ノ中
ニサウ云フモノガ入ッテ來ルノデゴザイマ
ス、併シ此ノ制度ガ完成ヲシマシタ後ニ於
テハ、乘馬俱樂部等ニ於キマシテハ餘リ重
過ギテ、軍用ノ乘馬ハ餘リ好マナイ、依然

輕種ヲ尊重スルト云フヤウナコトニ若シナ
ルト致シマシタナラバ、軍用トシテ必要ナ
乘型ノ中間種ト申シマスモノハ、自然其ノ
資源ヲ都會地以外ナ方面ニ求メナケレバナ
ラスト思フノデゴザイマス、從ヒマシテ是
等ハ色々ナ教育ノ機關トカ、或ハ指導員ノ
養成所デアルト云フヤウナ特殊ナ機關ニ經
營ヲ致サセマシテ、軍ノ必要トスル數ヲ保
持シ、且之ヲ鍛鍊ヲシテ行クノニ差支ノナ
イヤウニ致サナケレバナラス特殊ナ考慮ガ
必要ト存ズルノデゴザイマス、併シナガラ
現在ノ乘馬俱樂部アタリニ繋イデ居リマス
モノト致シマシテモ、此ノ軍用ノ乘型馬ガ
全然役立たナイ、或ハ趣味ニ合ハナイト云
フモノデヤナイノデゴザイマシテ、特殊ナ
馬ダケヲオ好キニナル方ハ別ト致シマシテ、
大部分ノ乘馬俱樂部ニ於テモ、將來ノ軍用
トシテ必要ナ乘型ノ中間種ヲ繋ガセルノハ、
餘リ困難デハナイノデハナイカト云フヤウ
ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス
○伯爵溝口直亮君 モウ一點伺ヒタウゴザ
イマスガ、速記ヲ御止メ願ヒタイ
○副委員長(男爵千田嘉平君) 速記ヲ止メ
テ

〔速記中止〕
〔委員長伯爵溝口直亮君委員長席ニ復

ス

○委員長(伯爵溝口直亮君) 速記ヲ始メテ
○大島健一君 先程軍用鍛鍊馬ノ競走ノコ
トニ付テ説明員ノ御答ニ、優等馬票ヲ發行
シナイ競技、即チ競馬ハ、主ニ馬券ヲ發行
スル競馬ノ競馬場ハ用ヒナイト云フコトデ
アリマシタガ、サウスルト之ノ爲ニ新タニ
設備ヲシナケレバナラスト云フコトガ起リ
マス、之ヲ一ツ伺ヒタウゴザイマス、其ノ又
經費ヲ考ヘナケレバナリマセヌ、併シ此ノ
事柄ハ至極結構ト私ハ思フノデアリマス、
此ノ間次田君モ御話ノヤウニ多クノ人ニ觀
ラレル、固ヨリ競馬ハ一ツノ競技デアルカ
ラ、之ヲ觀ルコトヲ好ムノハ人情デアリマ
シテ、簡單ニ品好ク見エルヤウニジテヤレ
バ隨分人ハ來ル、馬事思想、愛馬心ノ増進
ナドノ爲ニ廣ク是ガ行ハレルコトハ至極結
構ト思ヒマス、殊ニ其ノ優等馬票ヲ伴ハナ
イモノハ非常ナ數デアリマセウ、隨分多ク
行ハレル、各地方ニ於テ多ク之ヲ人ニ見セ
ルノハ非常ニ良イコトト思ヒマスガ、此ノ
競馬場ノ設備ト云フコトヲ考ヘテ置カナケ
レバナラスガ、ソレハドウスル御見込デセ
ウカ
○説明員(佐々木登君) 先程少シ説明ガ足
リマセヌデ、重ネテ御尋ヲ戴キマシテ非常

ニ恐縮ニ存ジマス、先程申上ゲマシタ優等

馬票ノ發行ヲ伴ハザル方ノ鍛鍊競技ハ、成
ルベク郡單位ヲ實施シテ積リテ居ル
ノデゴザイマス、サウシテ成ルベク多クノ
人ニ見セマシテ、一日モ速カニ馬事思想ガ
全般ニ普及スルト云フ風ニヤッテ行キタ
イノデゴザイマス、從ヒマシテ郡單位ヲ實
行スルト云フコトニナリマス、其ノヤ
リ方モ成ルベク簡單ニ出來マシテ、設備其
ノ他ニ金ノ掛ラナイヤウナ方法ニ致シマス、
又開催ノ日數ニ致シマシテモ、極ク手輕ニ
開ケルヤウニ致シタイト思フノデアリマス、
只今ノ所デ其ノ郡單位ニ於キマシテ、新シ
ク其ノ鍛鍊スル場所ヲ設備スルト云フヤ
ウナ準備ハ出來テ居ラナイノデゴザイマス
ガ、既設ノモノヲ成ルベク利用シテ行キタ
イト思ッテ居ルノデゴザイマス、縣單位ニ實
施ヲ致シマスモノハ、是ハ場所ノ關係ニ依
リマシテハ現在アリマス地方競馬場ヲ將來
廢止ニナリマス場所ヲ利用ヲ致シマス、場
所ノ關係ニ依リマシテハ、地方競馬ノ、鍛
鍊馬競走ノ開催セラレテ居リマス時期ニ、
其ノ場所ヲ使フト云フヤウニ、成ルベク其
ノ方ヲ利用シテ行キタイト云フ風ニ考ヘテ
居リマス

○委員長(伯爵溝口直亮君) 速記ヲ止メテ

(速記中止)

○委員長(伯爵溝口直亮君) 速記ヲ始メテ
○侯爵四條隆德君 色々馬産ノ計畫ヲ此ノ
法案ニ付テ伺ヒマシテ結局一ツノ結論ヲ得
タノデアリマス、其ノ結論ニ依リマシテ一
事ダケ御質問ヲ致シマス、結局今度競馬法
ノ競馬ノ實施ノ方法ニ一ツノ改良ガ加ヘラ
レタト云フコトニ付テ、モウ一ツハ軍馬資
源保護法案ガ實施セラレルニ付テ、馬産ノ
技術上ノ問題トシテハ中間種ノ牡馬ノ選擇
ト云フモノニ非常ナ變化ガ起ッテ來タ、即
チ馬ヲ購入後之ガ檢定ヲ馬政局ノ手デオヤ
リニヤル、牝馬ニ至ッテハ、公認競馬ニモ地
方競馬ニモ走レナクナル、サウ云フ點デ是
ガ一番大キク馬ニ及ス所ノ變化ダラウト考
ヘマス、サウスルト牡ノ馬ノ方ハ政府ノ手
デ今後「トレーニンング」ヲシテ成績ヲ御覽ニ
ナル、サウ云フコトニナリマスレバ是ハ了
承出來ルノデアリマススケレドモ、此ノ準備
ガ是ハ育成所ヤ種畜場デナサレト云フコト
トヲ先日承リマシタガ、此ノ準備ガ出來テ
カラ此ノ實施ヲナサルナラバ、少シモ種牡
馬ニ對スル選擇ニ何等差支ナイト、斯ウ云
フ考ノ下ニ、此ノ準備ハ現在ハ出來テ居ラ
ヌト云フ風ニ了承シタノデアリマスルケレ
ドモ、大凡何時頃完成スルカト云フ年限、

第四部第一六類 軍馬資源保護法案特別委員會議事速記第九號 昭和十四年三月十八日 貴族院

之ニ付テ承リタイノデアリマス、色々御調

査ノ結果ハッキリシタコトヲ承レ、バ是非
常ニ馬産上安心ガ行クコトト思ヒマス、只
今御分リニナッテ居レバ只今デ宜シウゴザ
イマス、サウデナケレバ是ハ質問ノ繼續シ
テ居ル時ニ何時デモ宜シウゴザイマスカラ
此ノ種牡馬ノ檢定ヲ完全ニ是ガ行ヘルヤウ
ニナルト云フ年度ヲ一ツ御聽カセ願ヘレバ
幸ダト思ヒマス
○説明員(佐々田伴久君) 過般來此ノコト
ニ付キマシテ御答シテ居ルノデアリマスガ、
尙徹底ヲ缺イタ點ガアルカト思ヒマス、從
來競馬法ニ依ル競馬並ニ地方競馬ニ出走シ
テ居リマスルモノハ、一部中間種ノ速歩競
馬ヲヤッテ居ルモノガゴザイマスガ、大部
分ハ輕種ニ屬スルモノナノデアリマス、今
方針ガ變リマシテ、輕種ハ生産制限シナケ
レバナラスコトニナッテ、種馬ヲ取得スル範
圍内ニ輕種ヲ制限シテ行カウト云フヤウナ
コトニ相成ッタノデアリマス、其ノ種馬ノ取得
スルノハ、地方競馬ニ依ラナイデ、公認競馬
ダケデ其ノ目的ヲ達成シ得ルノデアリマス、
デアリマスカラ輕種ニ付キマシテハ、從前通
リ競馬法ニ依ル競馬ニ依ッテ能力ヲ檢定シテ
種馬ヲ取得スル、即チ種牡馬ナリ種牝馬ヲ
取得シテ其ノ目的ヲ達成スル、ソコデ中間

種ヲ止メマシタノハ、此ノ間能ク申上ゲ

マシタノデ御存ジト存ジマスガ、大體種牡
馬七千五百頭ノ中、戰列部隊所要ノモノヲ
造リマスル種牡馬ノ中、輕種ヲ除イタ後ノ
乘馬ノ改良ニ使ヒマスル中間種乘馬ノ種馬
ハ、是ハ全部種馬育成所ニ於テ育成シテ居
リマス、又將來モスル方針デアリマス、ソ
レカラ輕馬ヲ造リマスル種馬ハ、乘馬ヲ造
リマスル中間種ノ種馬ヨリモ相當數ガ多イ
ノデアリマス、多イノデアリマスガ、是モ
大體種馬育成所ノ施設ヲ以テ育成シ得ルノ
デアリマス、唯問題ハ戰列部隊所要ノ馬、
戰列輕馬ヲ生産スル種牡馬デアリマスガ、
是ハ一部育成所ニ於テ育成スルコトガ出來
マスガ、一部ハドウシテモ國ノ施設ニ代ッテ
縣ノ施設ヲ利用シテ、サウシテ此ノ育成鍛
鍊ヲヤッテ行カナケレバナラスト云フ情勢
ニ在ルノデアリマス、ソレカラ其ノ外多數ノ
輜重輕馬、或ハ産業用馬ヲ造リマス中間
種ノ種馬ハ、是ハ地方育成シタモノヲ牡
馬ニ於テ購入スル、此ノ方法モ採ラナケレ
バナラスト存ズルノデアリマスガ、今回ノ
軍馬資源保護法ニ依ッテ鍛鍊馬競走ヲ行ヒ
マスガ、是ハ最前モ御説明ノ中ニアリマシ
タヤウニ、主トシテ乘馬格ノ軍用保護馬ヲ
鍛鍊ヲナサルノデアリマシテ、是ハ多クハ

二二

去勢馬、或ハ一部ノ牝馬ガ混ルト思ヒマスガ、蕃殖トハ直接關係ガナイノデアリマス、蕃殖ニ使ヒマスル種畜ニ付キマシテハ、種牝馬ハ種馬育成所ナリ、或ハ地方ノ種馬育成所ト云フモノヲ利用シテ育成鍛鍊スル、其ノ外民間ニ於テ育成スルモノニ付キマシテハ、育成ニ關シマスル指導員ヲ置クコトニナツテ居リマスガ、是等ハ種馬所ト協力致シマシテ、其ノ育成鍛鍊ニ當ル、尙一般ノ種牝馬ニ付キマシテハ、過般モ申上ゲマシタヤウニ種牝馬ヲ造ル種牝馬、或ハ戰列部隊所要ノモノヲ造リマスル種牝馬ノ中デ、特ニ乘馬ヲ造ルヤウナモノニ付キマシテハ、矢張り相當ノ育成鍛鍊ヲヤル必要ガアルト存ジマス、ソレデ其ノ檢定ノ方法デアリマスガ、現在種馬育成所アタリデヤツテ居リマスノハ、過般一端ヲ申上ゲタノデアリマスガ、大體三歳ニ於テ放牧ヲ終ヘテ後、即チ十月頃カラソロ／＼調教ニ取掛ルノデアリマスガ、サウシテ最初ハ乘馬、輓馬トモ騎乗、ソレカラ漸次進ムニ從ヒマシテ、乘馬ニハ乘馬ノ性能ヲ發揮スルヤウニ、又輓馬ニ付キマシテハ輓馬ノ性能ヲ發揮スルヤウニ調教ヲ加ヘマシテ、大體翌年ノ六月、即チ四歳ノ六七月ノ頃ニ於キマシテ、毎年乘馬ノ種馬ニ付キマシテハ、能力試験

ト致シマシテ、最初約四百「メートル」位ノ歩度デ四千「メートル」ヲ追フノデアリマス、然ル後ニ非常ナ起伏ノアル不整地ニ於テ障礙ヲ三十數箇飛越サセル、其ノ距離ハ約二千「メートル」デアリマス、最後ニ「マイル」ノ馬場ニ入りマシテ襲歩デ追フノデアリマス、都合乘馬ノ能力試験ハ七千「メートル」ト云フモノヲ色々ナ平地ダトカ不整地等ニ於テ能力檢定スル、其ノ翌日更ニ餘力試験ヲ行ヒマス、之ニハ更ニ又障礙飛越ヲヤルトカ、或ハ色々ナ疲勞ノ狀況ヲ見ル、サウシテ其ノ都度呼吸、脈搏、心臓ノ工合、或ハ發汗ノ狀況、疲勞ノ度、速度等ヲ見マシテ甲乙ヲ決メマス、サウシテ大體乘馬ノ能力試験檢定ヲ終了スル譯デアリマス、ソレカラ輓馬格ノモノニ付キマシテハ、大體今育成所アタリデ使ツテ居リマスノハ、此ノ間カラ申上ゲマスヤウニ、繫駕車輛ハ、アレハ七貫位シカアリマセヌガソレニ十五貫ノ鉛ヲ加ヘマス、府中アタリデヤツテ居リマスノハ十二貫位シカナイノデゴザイマスガ、育成所デ使ツテ居リマスル調教車輛ハ四百五十「キロ」位アルノデアリマス、ソレニ二人乗リマシテ、其ノ車輛ヲ駕シテ四千「メートル」ヲ速歩デ追フノデアリマス、サウシテ、其ノ速度ヲ見、更ニ呼吸トカ脈搏、

心臓ノ狀況、發汗ノ狀況等色々ナ狀況ヲ見ル、又ソレトハ別ニアソコニ「ダイナメーター」ヲ備付ケマシテ、瞬間ノ輓曳力ヲ見ル、サウシテ兩方併セマシテ、其ノ能力ヲ判定シテ居ルノデアリマス、サウ云フヤウナ譯デ、國ニ於テハ相當競馬ニ依ラザル方法ニ依ツテ合理的ニ能力檢定ヲシテ居ルノデアリマス、是等ノ方法ヲ出來ルダケ地方ニ於テモ今後行ツテ貫ヒマシテ、少クトモ戰列部隊所要ノモノヲ造ル種牝馬ニ付キマシテハ、出來ルダケ其馬ノノ能力ヲ發揮スルヤウニ、又檢定等モ十分ニヤツテ行キタイト思ヒマス、其ノ他ノモノニ付キマシテハ各種馬場所ノ職員、地方ニ配置スベキ職員ト協力致シマシテ、出來ルダケ其ノ能力ヲ増進シ、改良ノ目的ニ副フヤウナ馬ヲ造ルヤウニヤリタイト云フ考デ、今準備ヲ折角進メテ居ル譯デアリマス、以上御答ヘ申上ゲマス

○侯爵四條隆德君 檢定ノ方法ニ付キマシテハ非常ニ能ク了解出來タノデアリマスガ、ハ非常ニ能ク了解出來タノデアリマスガ、先般雜畜場デ是等檢定ニ對シテ設備ヲナサルト云フ御話ガアツタノデアリマスガ、是ハ駄馬ノ種牝馬ニ對スル能力ノ檢定ヲ種畜場デ行フト云フ風ニ解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○説明員(佐々田伴久君) 只今申上ゲマシタヤウニ、乘馬、輓馬ノ種馬ニ付キマシテハ、是ハ大體各種馬所ニ繫畜スルコトニ相成ルノデアリマス、從ツテ是ハ育成所ニ於テ育成スル、ソレカラ其ノ他ニ地方ニ相當數貸付ケル譯デアリマスガ、其ノ中ニ戰列駄馬ヲ造ルヤウナ格ノモノモ相當居ルノデアリマス、是等ハ地方廳ノ種畜場トカ或ハ種馬育成所等ニ於テ行フノデアリマス、ソレデアリマスカラ大部分ハ戰列駄馬格ノ種馬ニナルコトト存ジマス

○侯爵四條隆德君 ソレデ非常ニ能ク了解出來タノデアリマスガ、只今中間種ヲ作ル爲ノ種馬ニハ輕種ガアル、ソレハ公認競馬カラ種馬ヲ採ルト云フコトヲ只今御話ニナツテ、ソレハ了承シタノデアリマスガ、私ノ伺ツテ居ルノハ、中間種用ノ種馬ニハ、輕種モ無論アルケレドモ、是ハ候補種牝馬ニナル關係上鍛鍊馬ニナリ得ナイ、ソレデ地方競馬ニハ出ラレナイ、サウスルト、中間種用ノ種馬ト云フモノハ全部種馬牧場デ生産サレルト云フコトニ了承シテ宜シウゴザイマスカ

○説明員(佐々田伴久君) 勿論政府所管ノ牧場ニ於テ中間種ニ重點ヲ置イデ生産スルノデアリマスガ、ソレデハ足リマセヌノデ

中間種ノ種馬ハ矢張り民間デ相當ヤツテ戴
カナケレバナラスト心得テ居リマス

○侯爵四條隆德君 其ノ足ラナイデ民間カ
ラ御買上ニナル中間種用ノ中間種ノ種馬選
定ノ方法ガ、完全デアアルカドウカト云フコ
トニ付テ、私ガ伺ッテ居ルノデゴザイマス
ガソレニ付テ……

○説明員(佐々田伴久君) 只今種馬育成所
ニ收容致シテ居リマス候補種牡馬ハ、日高
ノ種馬牧場ト奥羽ノ種馬牧場デ出來マスモ
ノガ約六十頭位デアリマス、然ルニ民間カ
ラ二歳デ買ッテ收容シテ居リマスモノハ、昨年
アタリハ百八十六頭デアリマス、デアリマスガ、
更ニ各種馬場所ノ種牡馬ノ増繫計畫ガ進ム
ニ伴ヒマシテ、年々ソレガ殖エテ參ルノデ
アリマス、將來種馬育成所ノ育成施設ガ擴
充致シマスル際ニハ、民間カラ買上ゲマス
モノヲ約二百五十頭バカリ收容スルコトニ
ナツテ居リマス、一方牧場ノ生産ハサウ増サ
ナイノデアリマスカラ、今後種馬場所ノ種
牡馬ノ増繫ニ伴ッテ育成馬ガ増スノハ、主ト
シテ民間カラ二歳デ買フモノガ大部分ト云
フコトニナル譯デアリマス

○侯爵四條隆德君 只今ノ御話デ、將來民
間カラ購入シタ種牡馬モ收容シ得ルヤウ
ニ、種馬育成所ニ於テ二百何頭ト云フモノ

ニ對スル御設備ガ出來ルト云フコトデ安心
シタノデアリマスガ、將來是ガ完全ニ出來
ルト云フノハ餘程遠イ將來デアリマスカ

○説明員(佐々田伴久君) ソレハ十二年度
カラ十五年度迄四箇年計畫デ今擴充計畫ヲ
折角ヤツテ居ル譯デアリマス、デアリマスカ
ラ、モウ二三年モ經チマスレバ設備ダケハ
出來ル譯デアリマス

○侯爵四條隆德君 只今ノ御答ヲ聽キマシ
テ、二三年先ニハ中間種用ノ中間種種牡馬
ニ對スル能力檢定ノ設備ガ完全ニ出來ルト
了承シテ、私ノ質問ヲ終リマス

○子爵高倉篤磨君 極ク分リ切ツタコトヲ御
尋ネスルヤウデアリマスガ、此ノ鍛鍊中央
會ノ組織デゴザイマス、是ハ十二條ノ第二
項ニ依リマスルト、無論地方團體ガ之ニ當
ルモノト思ヒマスガ、此ノ中央會ノ仕事ヲ
致スベキ役員ハ、其ノ會員ノ中ノ者ガ之ニ
當ルト斯ウ考ヘマシテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(荷見安君) 會員ノミデアリマ
セヌデ、役員ト致シマシテハ、農林大臣ノ
任命スル者モ當ルコトニナツテ居リマス

○委員長(伯爵瀧口直亮君) 本日ノ委員會
ハ此ノ程度ニ於テ散會致シマス、明日午前
十時ヨリ引續キ委員會ヲ開會致シマス

午後三時二十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵瀧口 直亮君
副委員長 男爵千田 嘉平君
委員

侯爵西郷 從德君
侯爵四條 隆德君
子爵高倉 篤磨君
子爵會我 祐邦君
子爵西尾 忠方君
大島 健一君

宇佐美勝夫君
堀切善次郎君
男爵關 義壽君
男爵佐藤達次郎君
次田大三郎君

金杉英五郎君
高島 順作君
宇野 勇作君
米原 章三君

政府委員

陸軍少將 中村 明人君
馬政局長官 荷見 安君
馬政局事務官 伊藤莊之助君

説明員

陸軍騎兵大佐 佐々木 登君
馬政局技師 佐々田伴久君

昭和十四年三月十九日印刷

昭和十四年三月二十日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局